

全数把握疾患保健所別累積報告数

【平成31（2019）年 1月10日現在 感染症発生動向調査による】

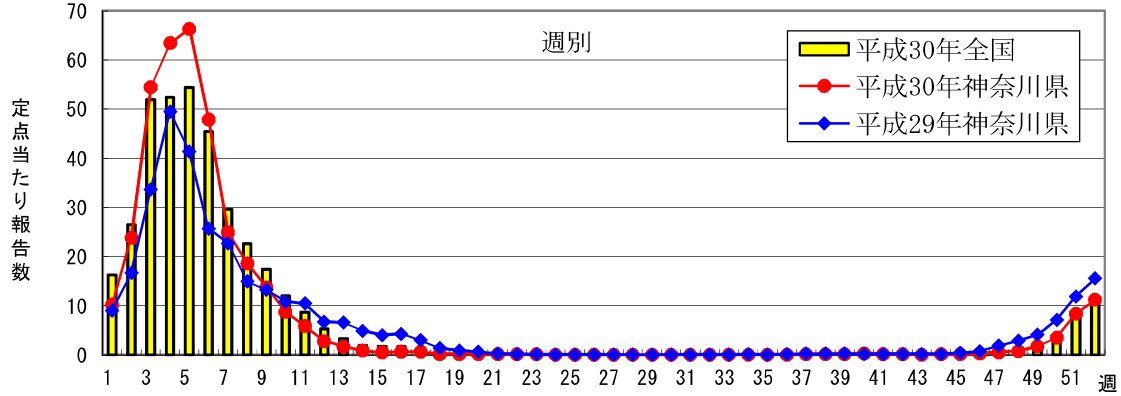
	総計	二類		三類感染症				四類感染症										五類感染症																				
		結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
平成29年総数	3200	1664	17	267	3	2	14	19	1	2	16	26	1	1	1	101	2	90	12	123		47	14	47	82	2	26	3	238	15	322	11	5	6		10	9	1
平成30年総数	4597	1590	15	300	2		46	95			15	22		1	1	114	2	76	17	233	8	36	18	56	75	6	35	1	225	53	352	11	5	4	763	411	7	2
横浜市	1758	613	5	125	1		17	41				11			1	35	1	35	8	83	3	16	6	21	35	2	14	1	98	25	148	2	2	3	234	169	3	
川崎市	1001	321	3	45			11	26						1	34	1	10	3	49	4	14	1	9	16		5		57	10	69	6		1	185	110	4		
相模原市	271	97	2	8			2	6			2	1			6		8	2	18	1	4	7	5	7		4		11	2	21				34	23			
県域	1567	559	5	122	1		16	22			13	4			39		23	4	83		2	4	21	17	4	12		59	16	114	3	3		310	109		2	
横須賀市	209	104		10			3	3							4		1	1	5		1	1	4	2		5		17		23				5	20			
藤沢市	301	65	1	17			3	7				1			5		6		26				1	1	2	2	2	18	9	30	1			81	22		1	
茅ヶ崎市	113	51		3			1								2			1	3		1		1						1	7		1		30	11			
平塚	106	41	1	16											6		2		5				1	2		2	2	6	2	4					11	7		
秦野センター	161	41		6			2	4			4	1			3		4		16				1	5	8		1	9	1	12	1	1		31	9		1	
鎌倉	109	48		5			3	5			1	2			5		3		3				2					3		3	1				19	6		
三崎センター	22	13		1													1						1												5	1		
小田原	106	52		7											6		1	2	8								1		1	6				18	4			
足柄上センター	63	21		1			3				8								5						1			1				1			18	4		
厚木	240	86	3	50	1			2							6		3		4				1	4	1	1		3	1	22				36	16			
大和センター	137	37		6			1	1							2		2		8					2	1	1	1	2	1	7				56	9			

定点報告数週別推移

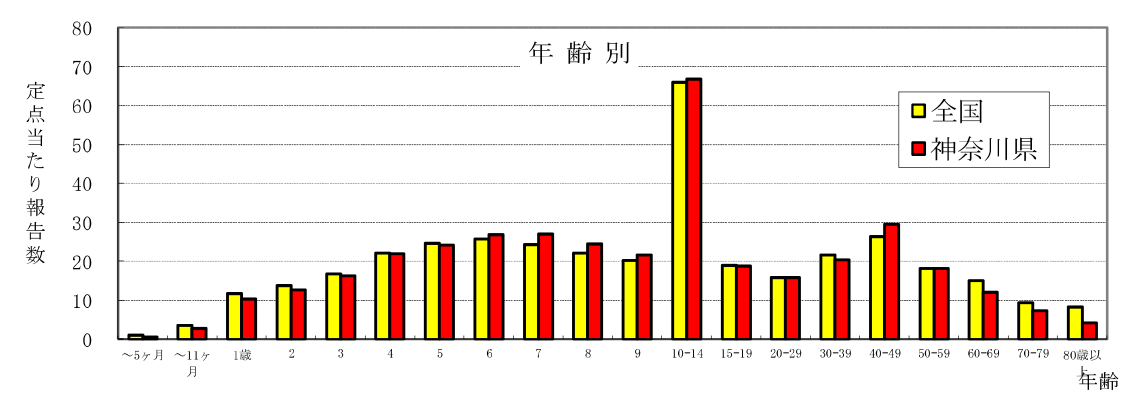
【インフルエンザ】

資料 3

○ 神奈川県週別推移（平成29～30年）

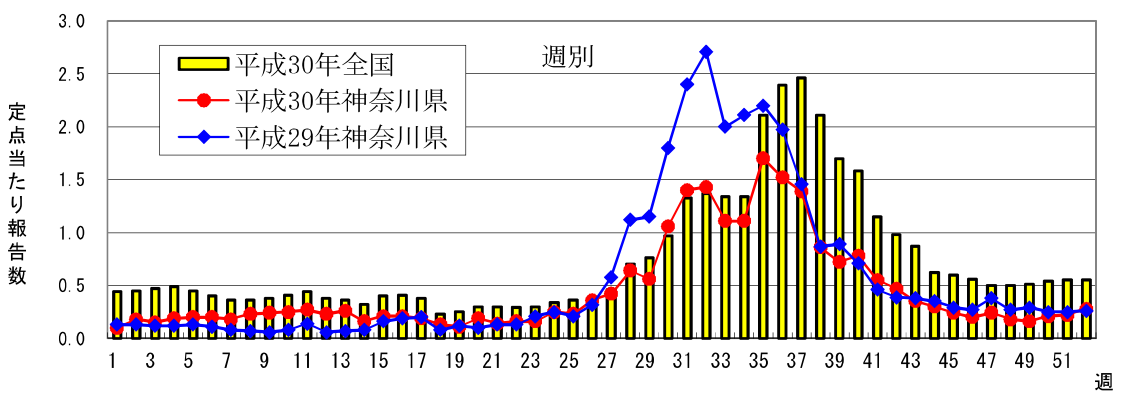


○ 年齢別定点当たり報告数（平成30年）

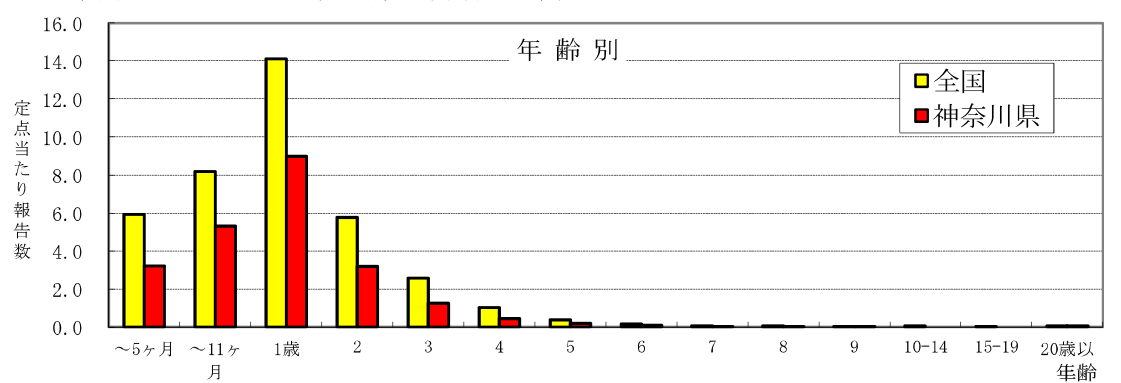


【RSウイルス感染症】

○ 神奈川県週別推移（平成29～30年）

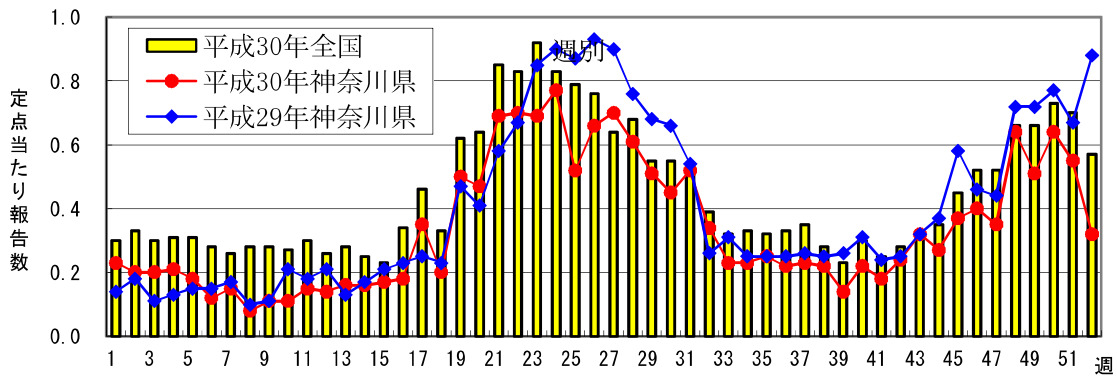


○ 年齢別定点当たり報告数（平成30年）

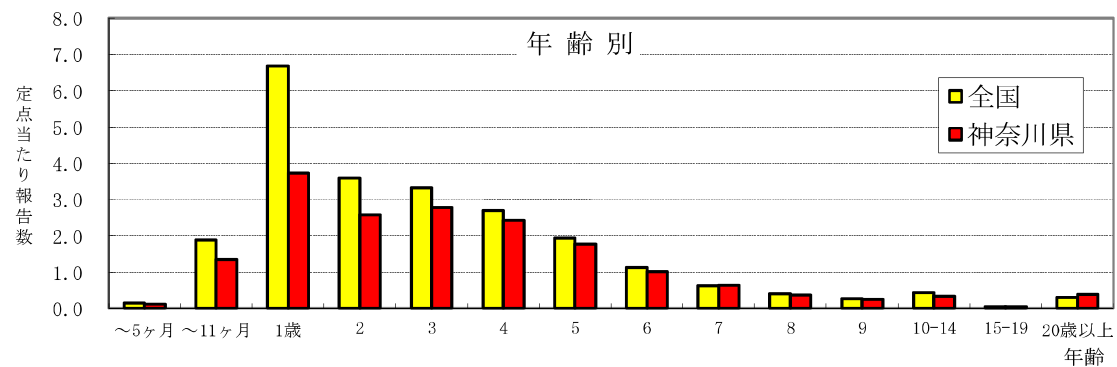


【咽頭結膜熱】

○ 神奈川県週別推移（平成29～30年）

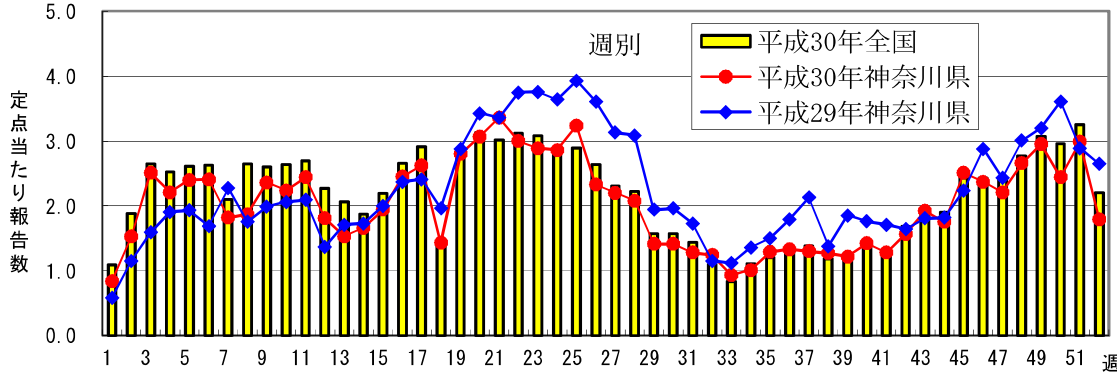


○ 年齢別定点当たり報告数（平成30年）

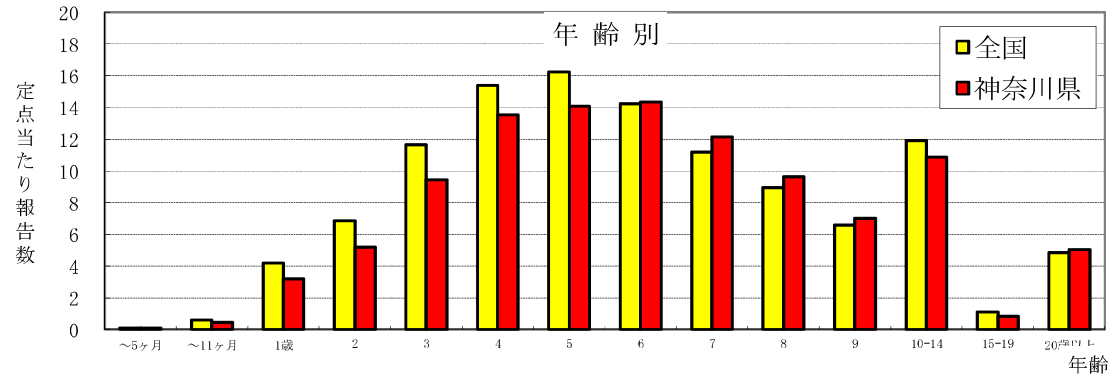


【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

○ 神奈川県週別推移（平成29～30年）

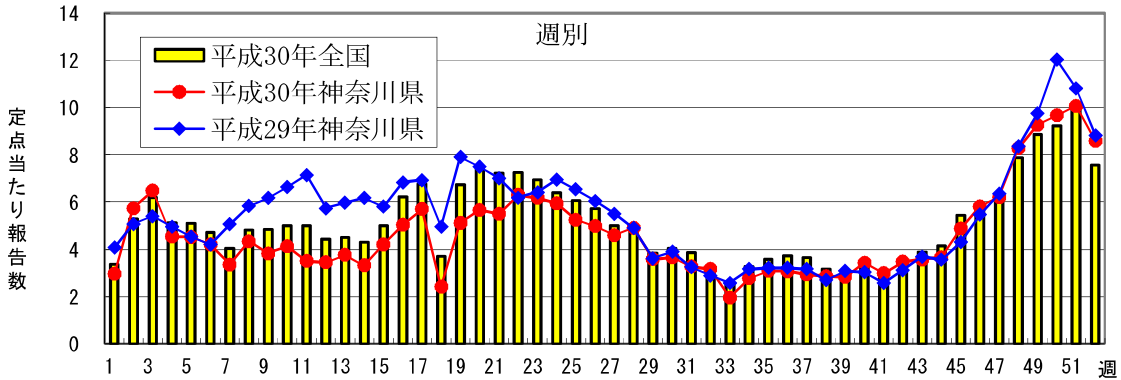


○ 年齢別定点当たり報告数（平成30年）

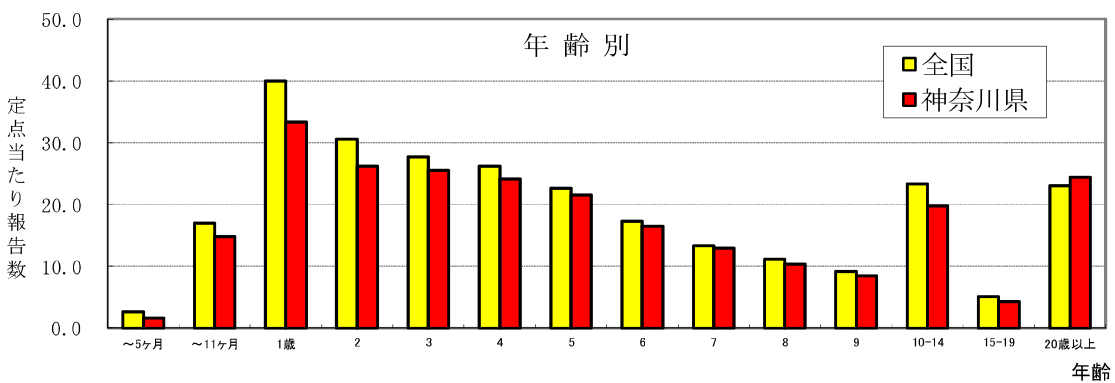


【感染性胃腸炎】

○ 神奈川県週別推移（平成29～30年）

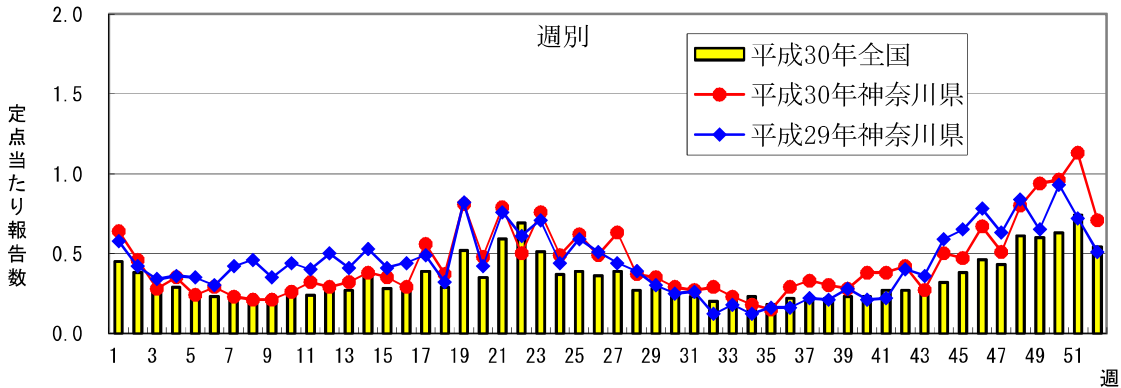


○ 年齢別定点当たり報告数（平成30年）

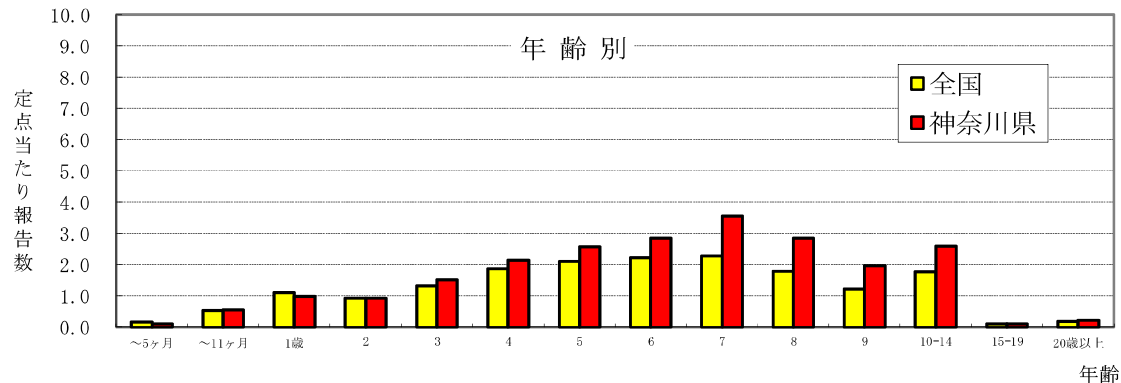


【水痘】

○ 神奈川県週別推移（平成29～30年）

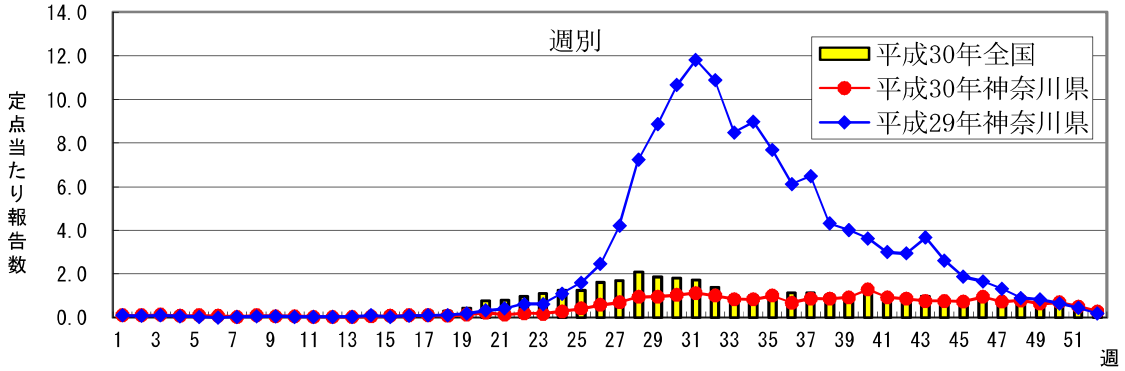


○ 年齢別定点当たり報告数（平成30年）

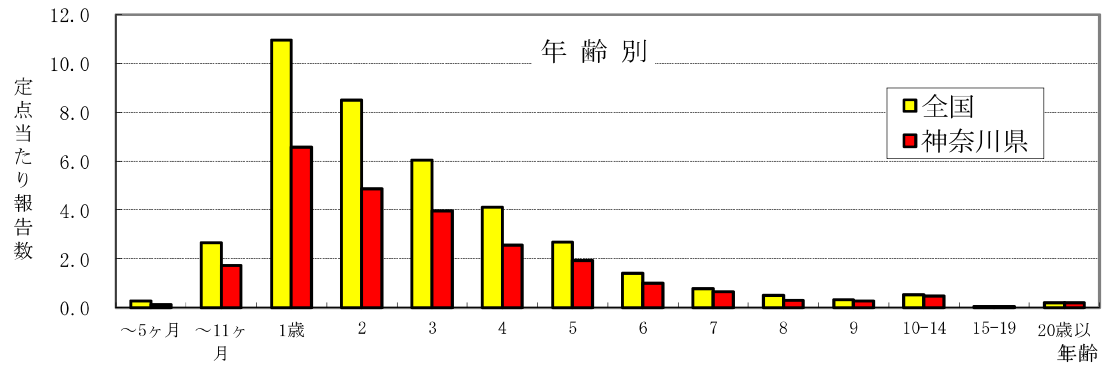


【手足口病】

○ 神奈川県週別推移（平成29～30年）

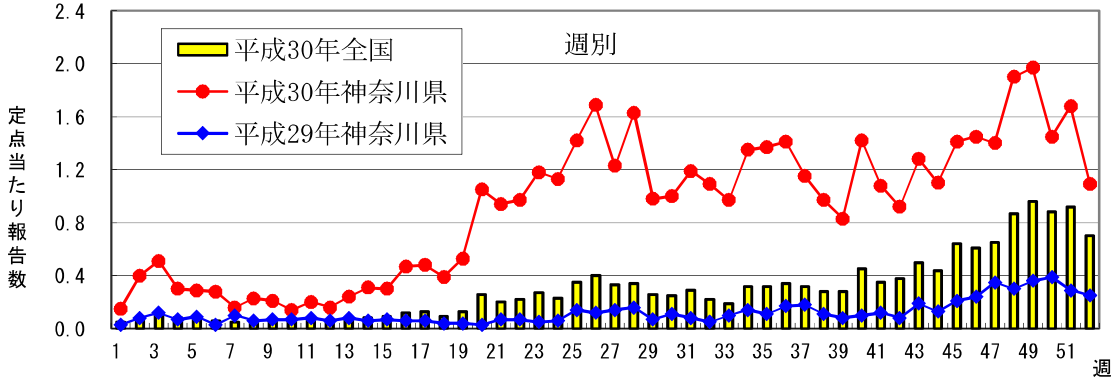


○ 年齢別定点当たり報告数（平成30年）

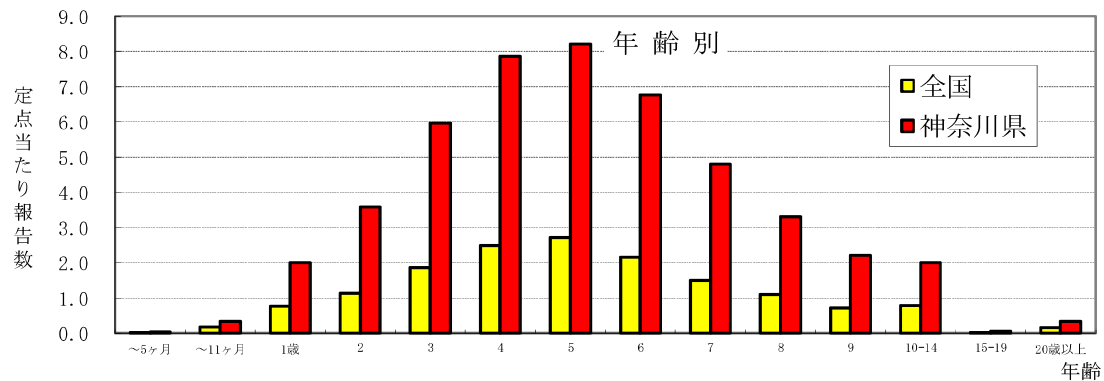


【伝染性紅斑】

○ 神奈川県週別推移（平成29～30年）

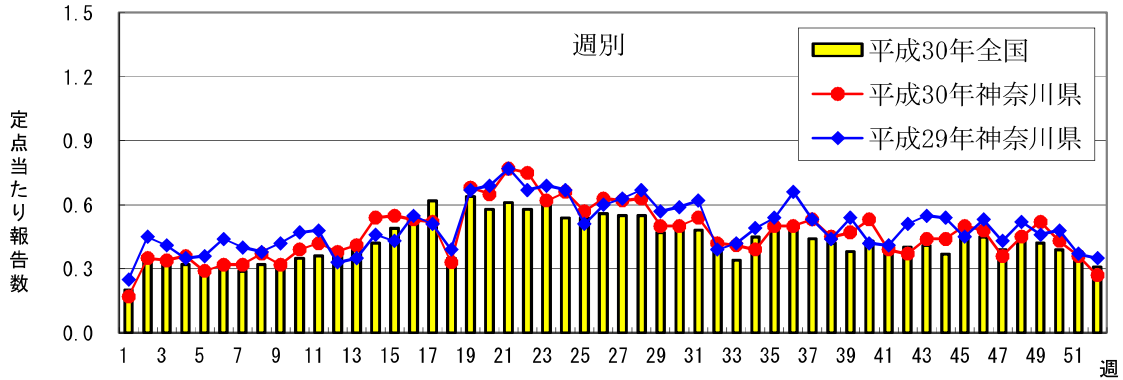


○ 年齢別定点当たり報告数（平成30年）

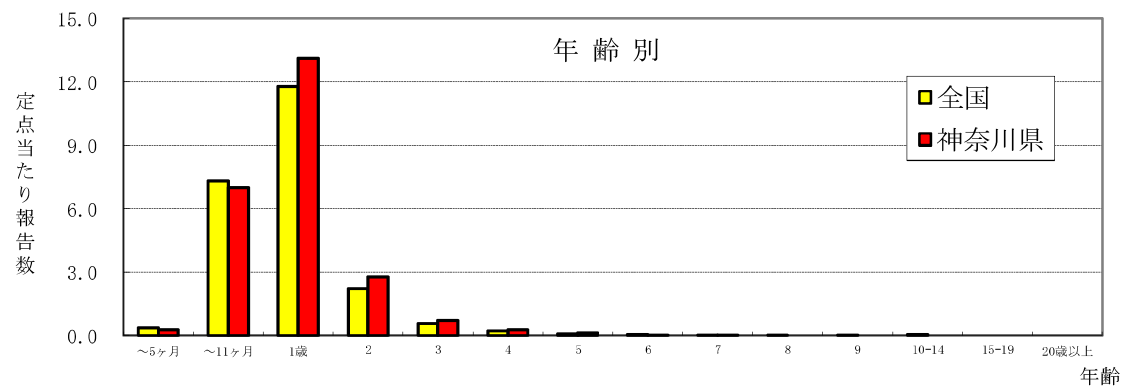


【突発性発しん】

○ 神奈川県週別推移（平成29～30年）

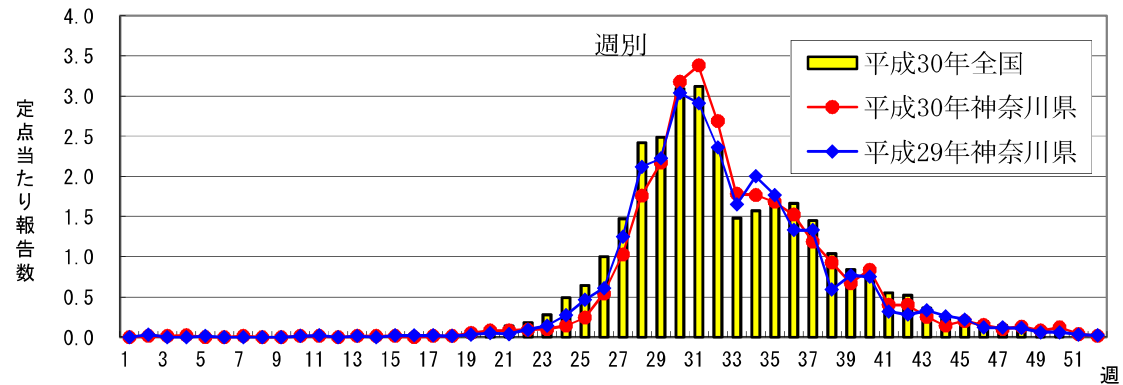


○ 年齢別定点当たり報告数（平成30年）

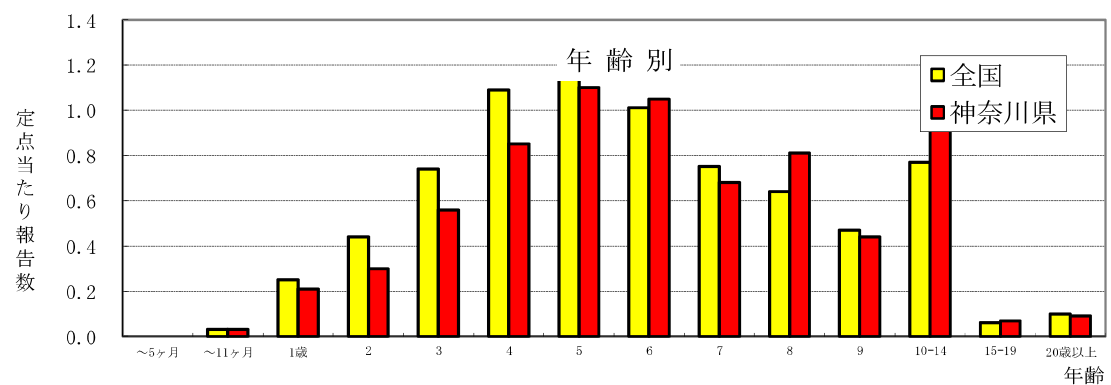


【ヘルパンギーナ】

○ 神奈川県週別推移（平成29～30年）

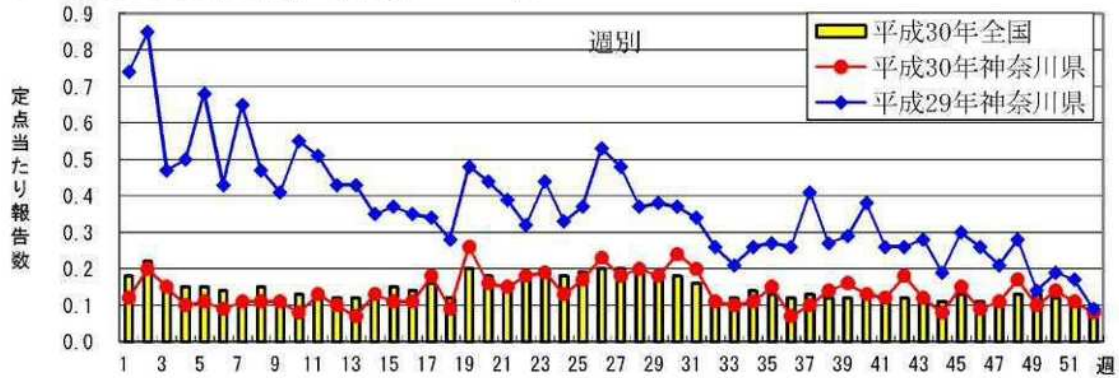


○ 年齢別定点当たり報告数（平成30年）

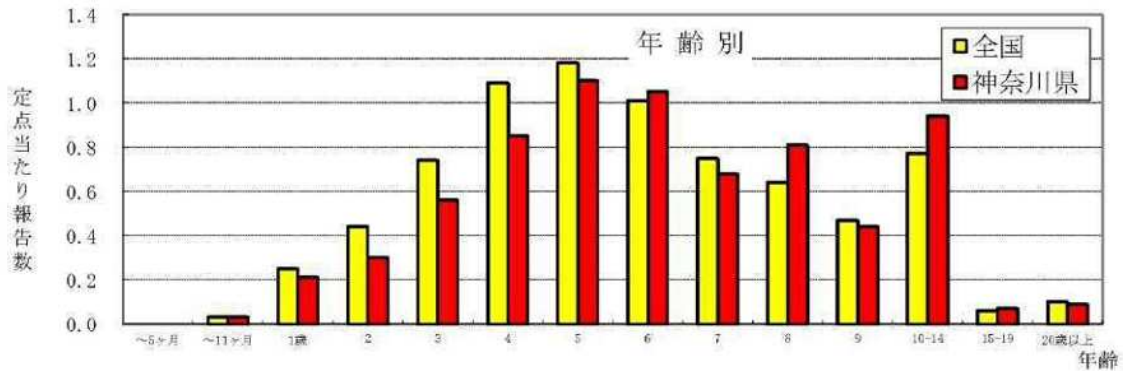


【流行性耳下腺炎】

○ 神奈川県週別推移（平成29～30年）

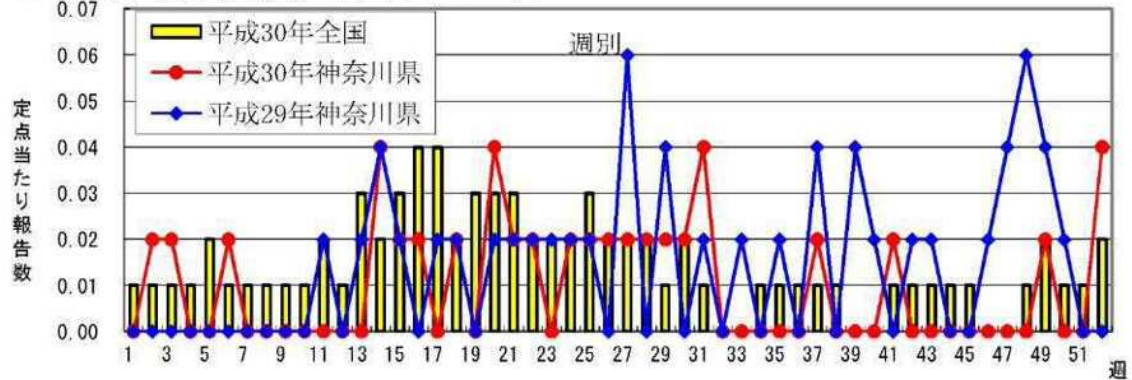


○ 年齢別定点当たり報告数（平成30年）

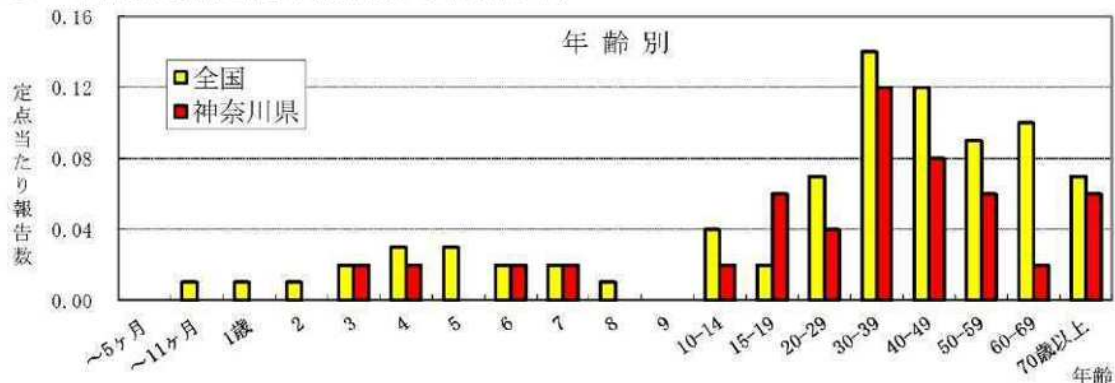


【急性出血性結膜炎】

○ 神奈川県週別推移（平成29～30年）

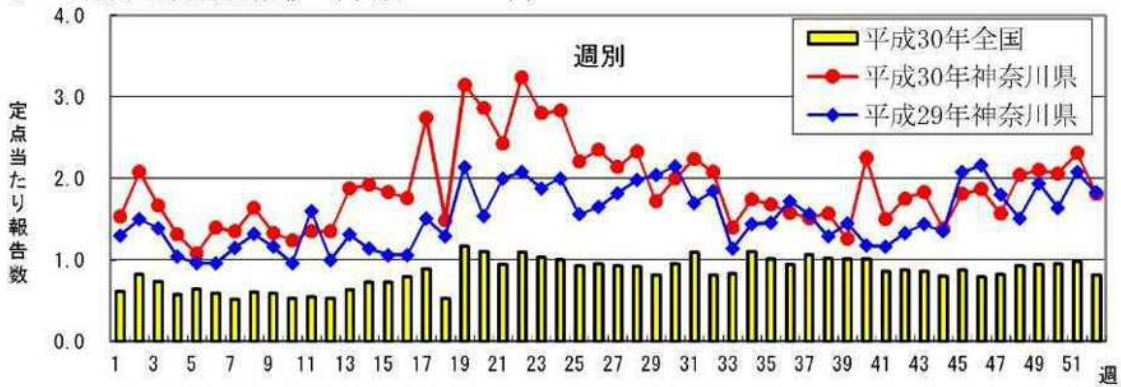


○ 年齢別定点当たり報告数（平成30年）

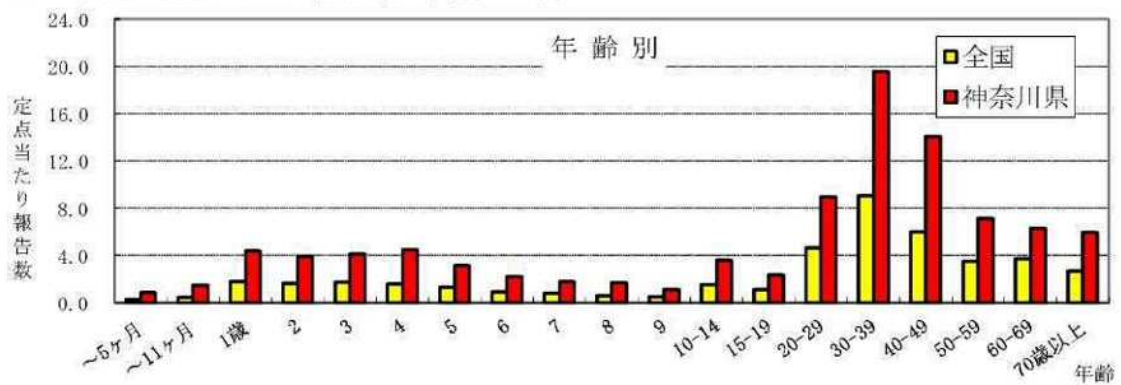


【流行性角結膜炎】

○ 神奈川県週別推移（平成29～30年）

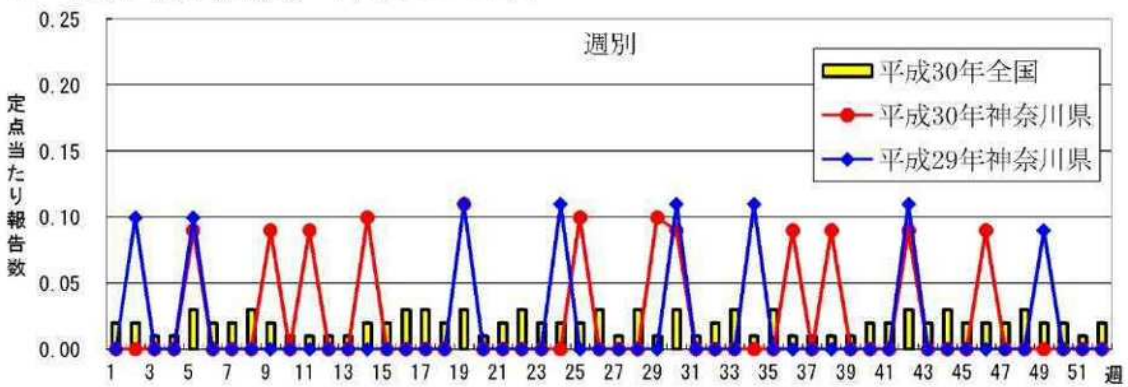


○ 年齢別定点あたり報告数（平成30年）

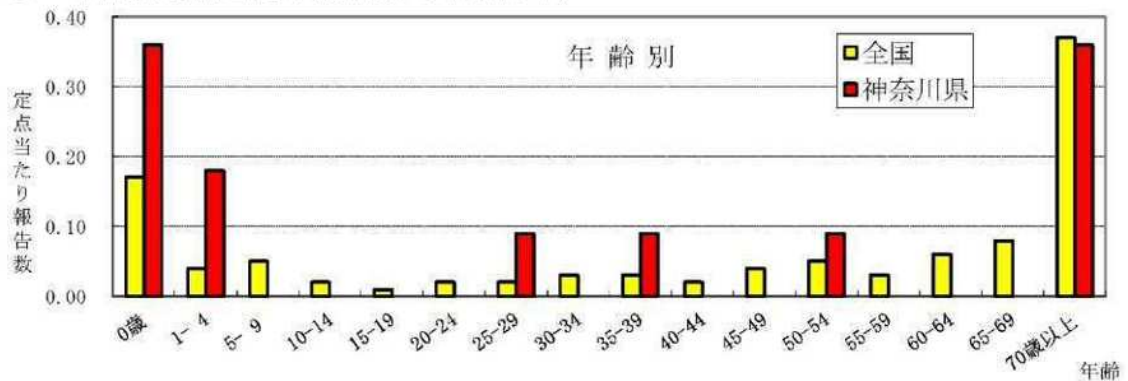


【細菌性髄膜炎】

○ 神奈川県週別推移（平成29～30年）

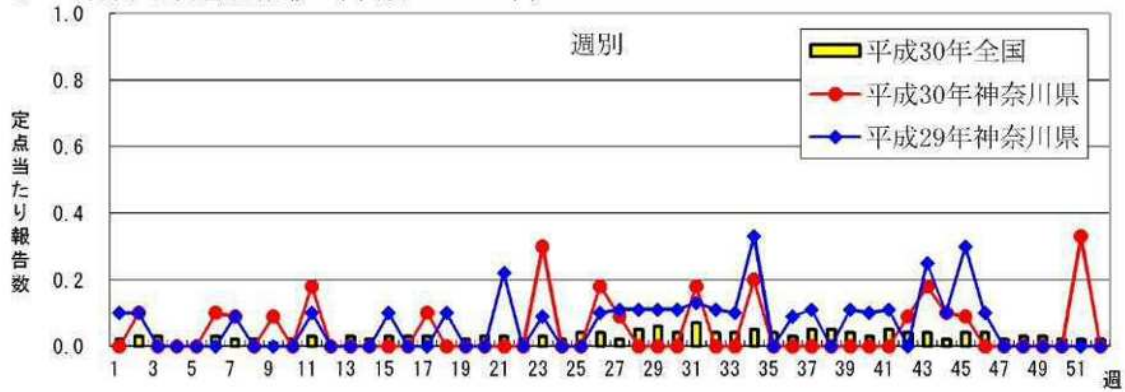


○ 年齢別定点あたり報告数（平成30年）

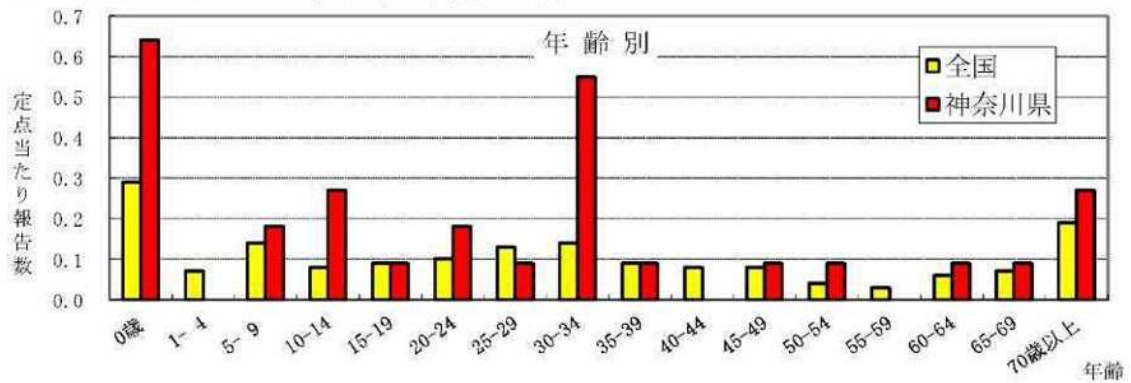


【無菌性髄膜炎】

○ 神奈川県週別推移（平成29～30年）

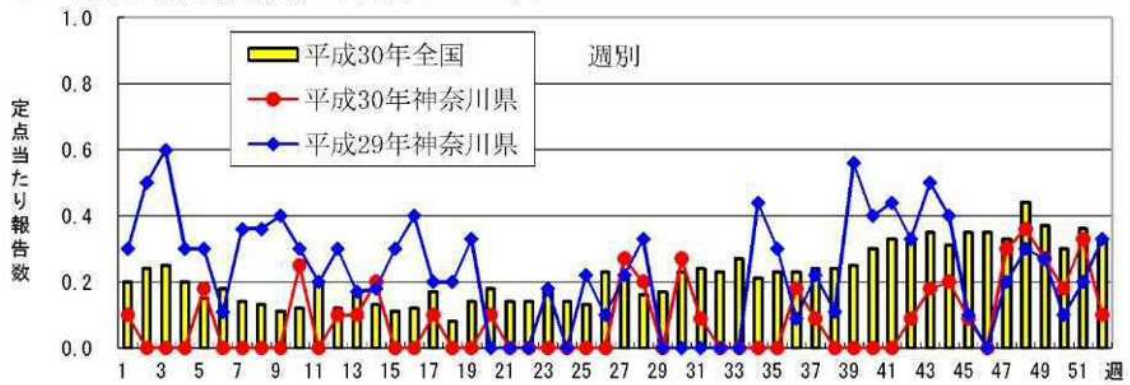


○ 年齢別定点当たり報告数（平成30年）

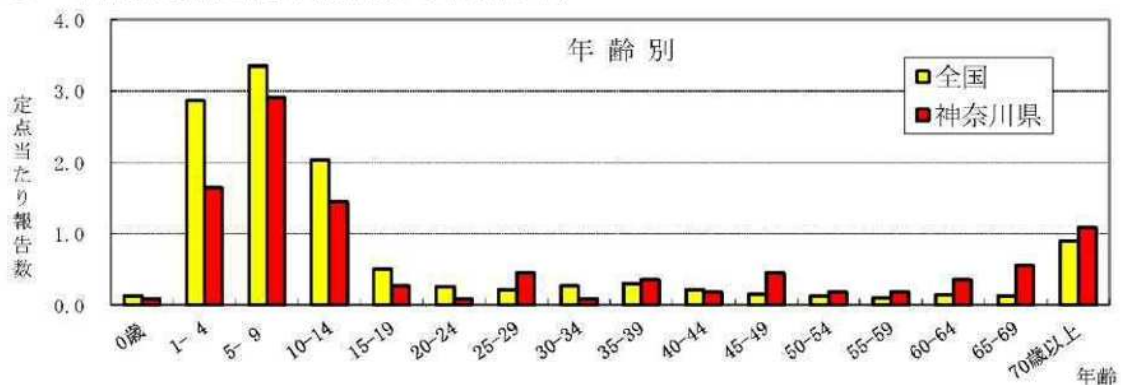


【マイコプラズマ肺炎】

○ 神奈川県週別推移（平成29～30年）

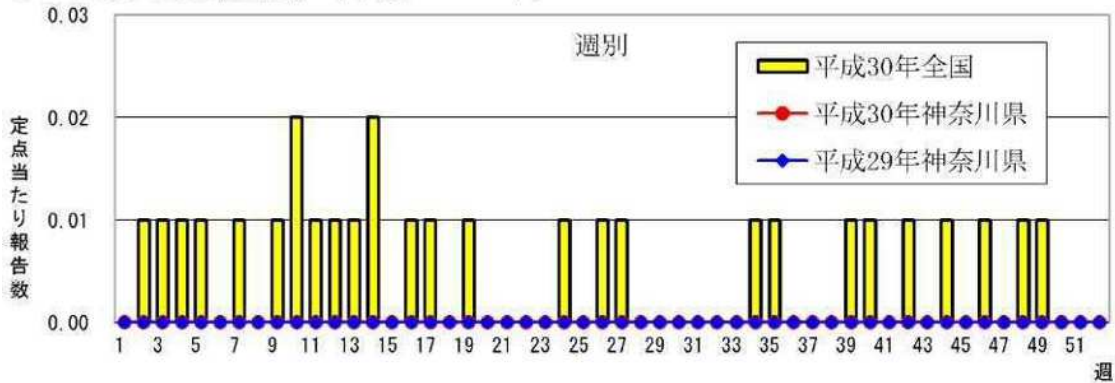


○ 年齢別定点当たり報告数（平成30年）

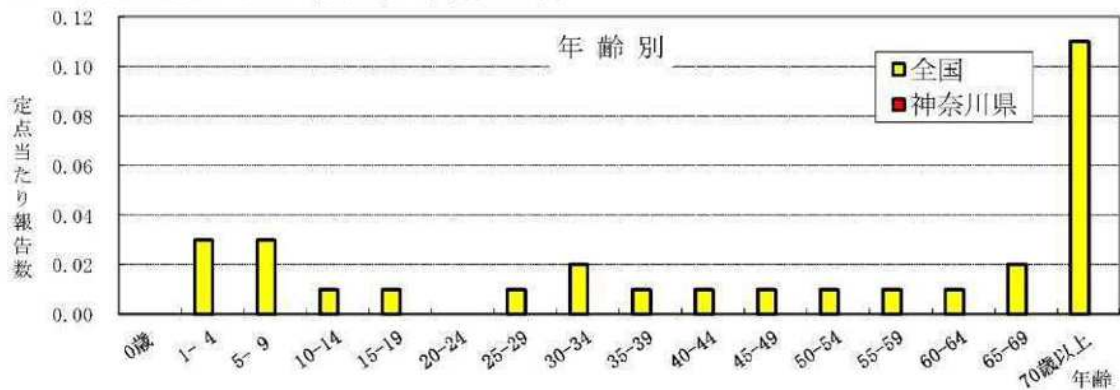


【クラミジア肺炎（オウム病を除く）】

○ 神奈川県週別推移（平成29～30年）

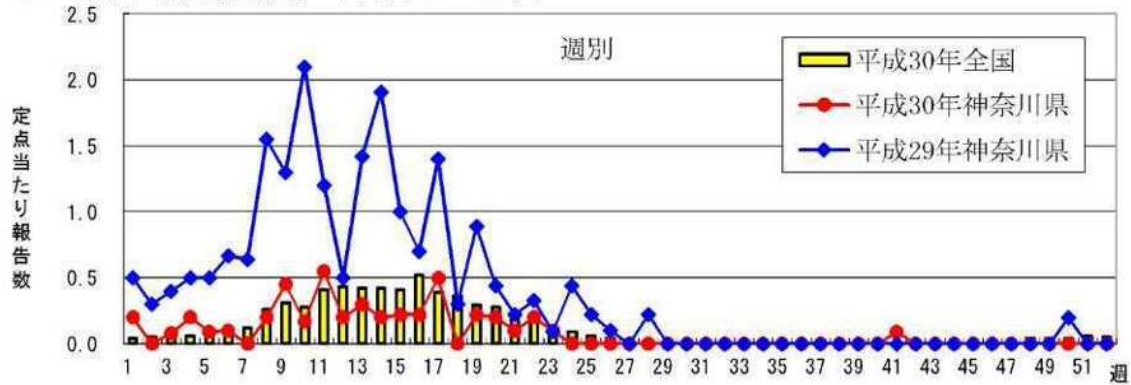


○ 年齢別定点当たり報告数（平成30年）

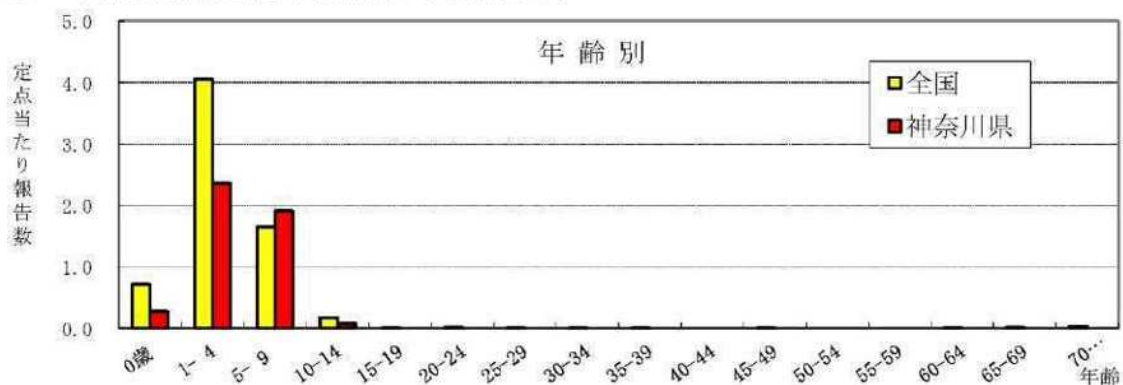


【感染性胃腸炎（ロタウイルス）】

○ 神奈川県週別推移（平成29～30年）

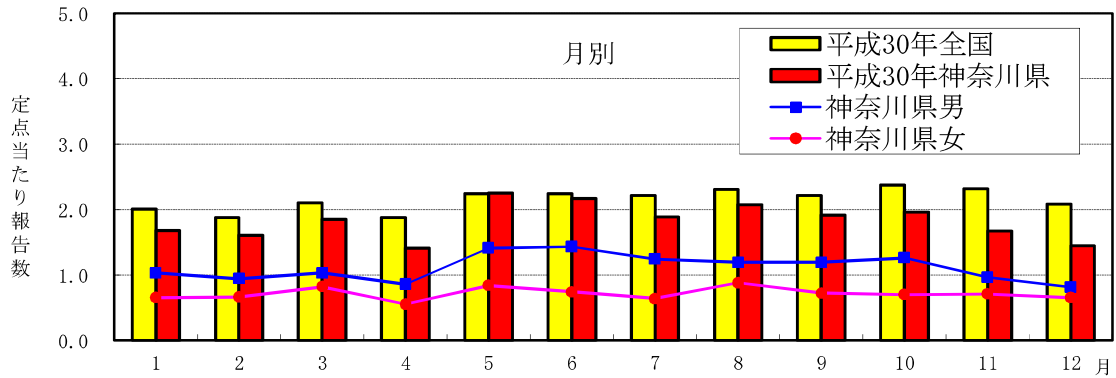


○ 年齢別定点当たり報告数（平成30年）

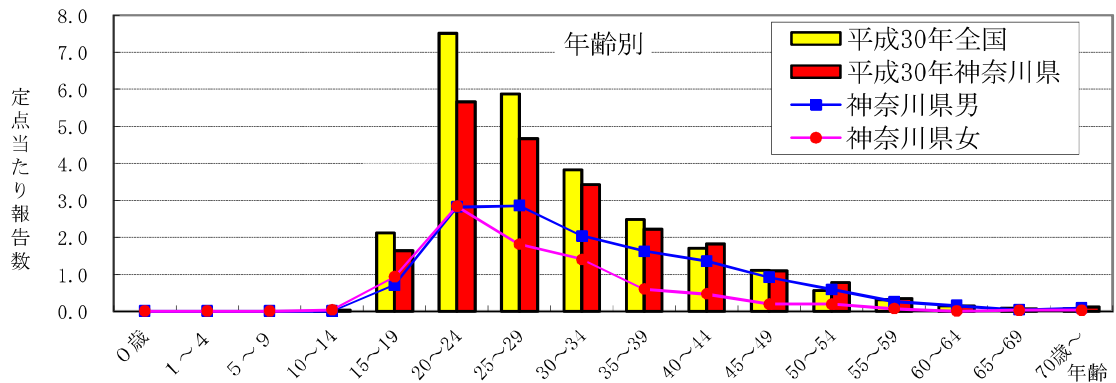


【性器クラミジア感染症】

○ 神奈川県月別報告数（平成30年）

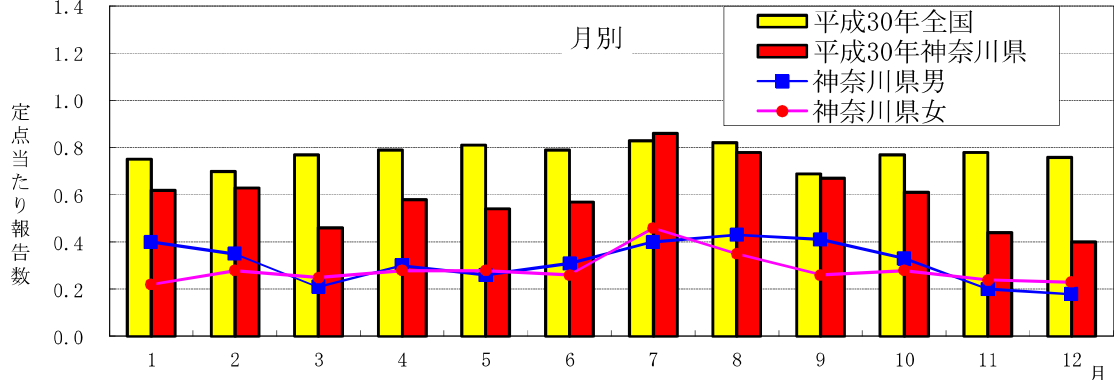


○ 神奈川県年齢別報告数（平成30年）

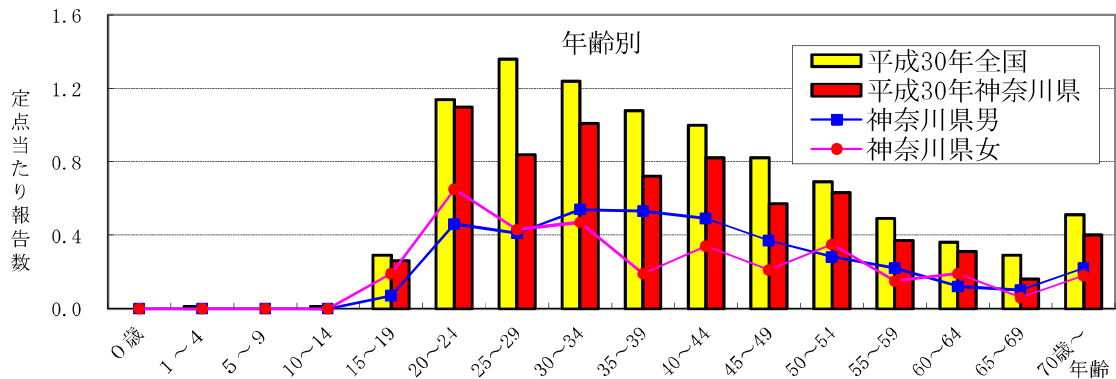


【性器ヘルペスウイルス感染症】

○ 神奈川県月別報告数（平成30年）

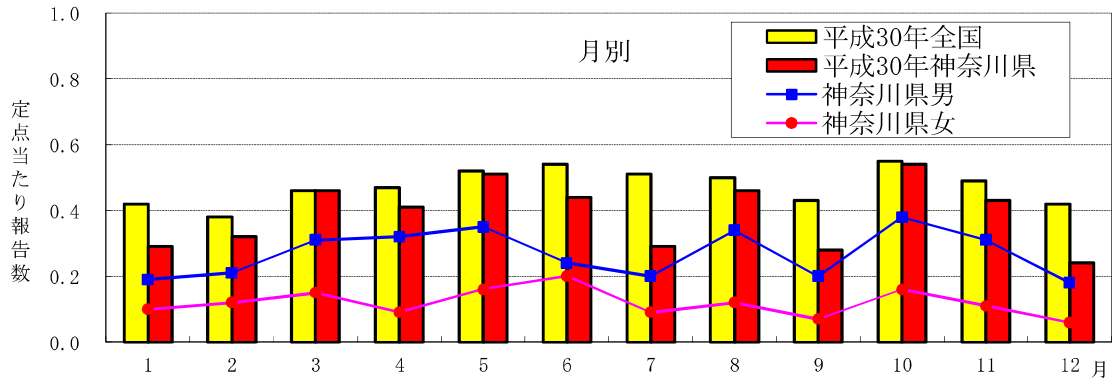


○ 神奈川県年齢別報告数（平成30年）

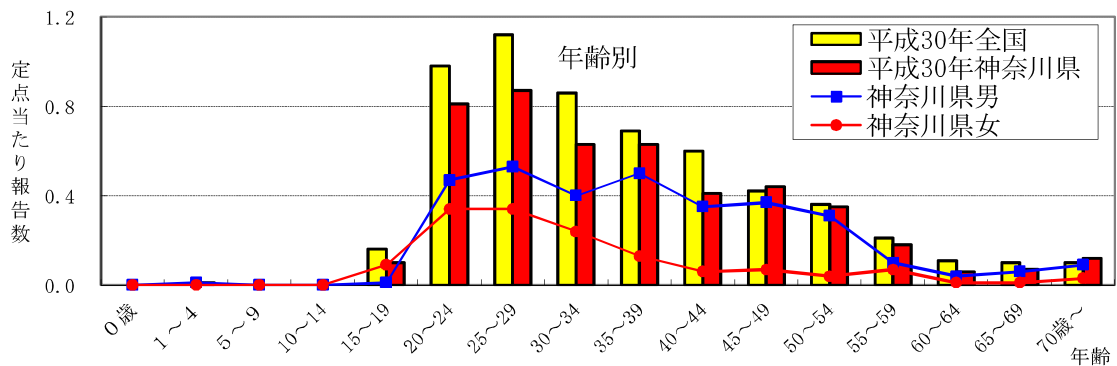


【尖圭コンジローマ】

○ 神奈川県月別報告数（平成30年）

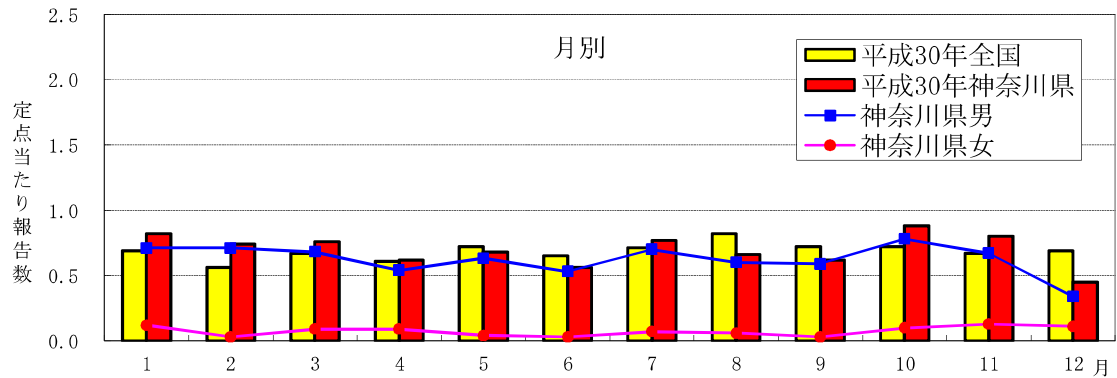


○ 神奈川県年齢別報告数（平成30年）

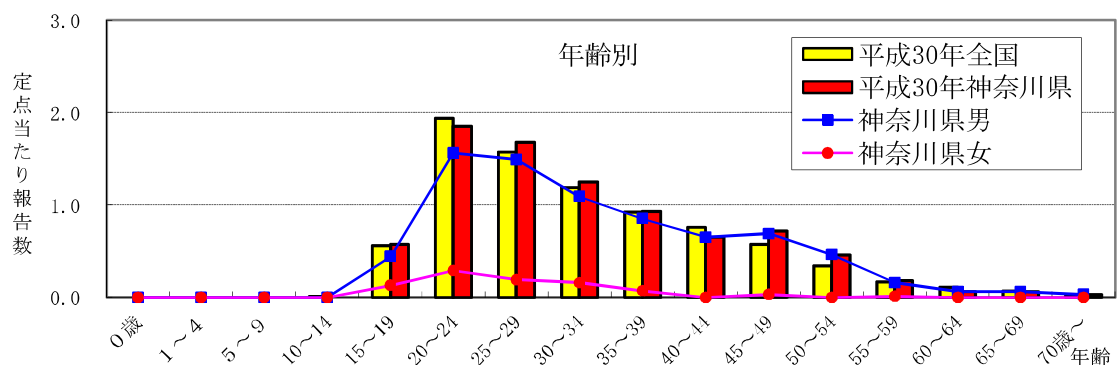


【淋菌感染症】

○ 神奈川県月別報告数（平成30年）

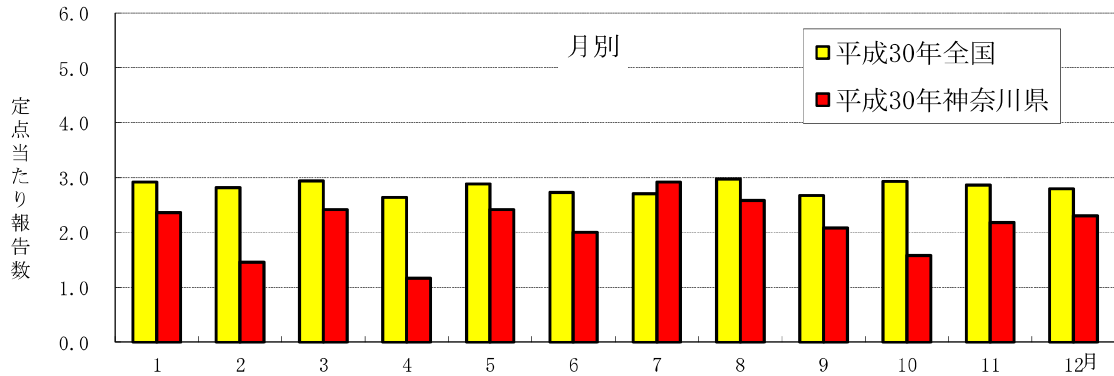


○ 神奈川県年齢別報告数（平成30年）

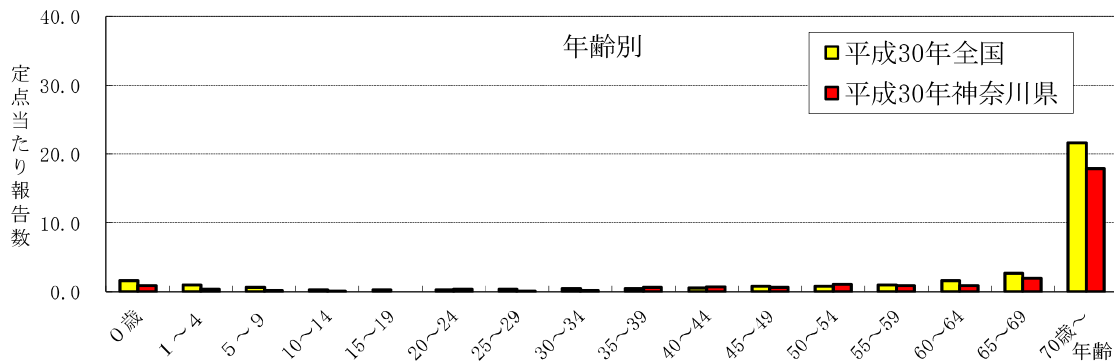


【メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症】

○ 神奈川県月別報告数（平成30年）

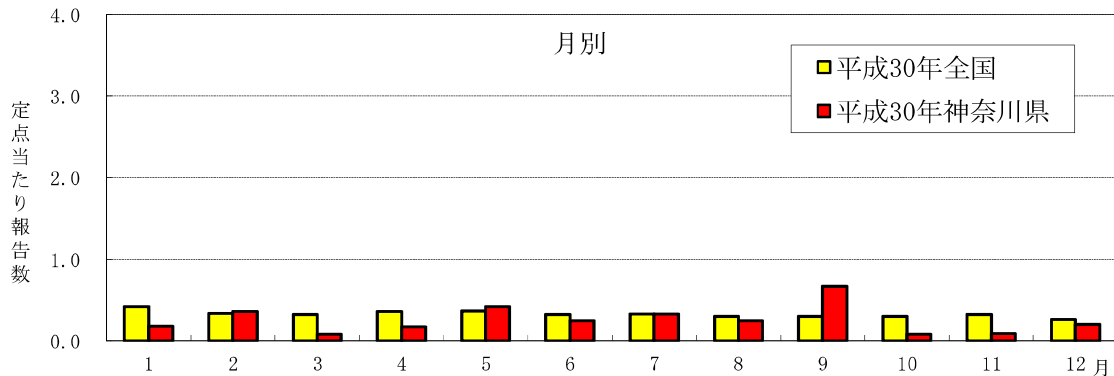


○ 神奈川県年齢別報告数（平成30年）

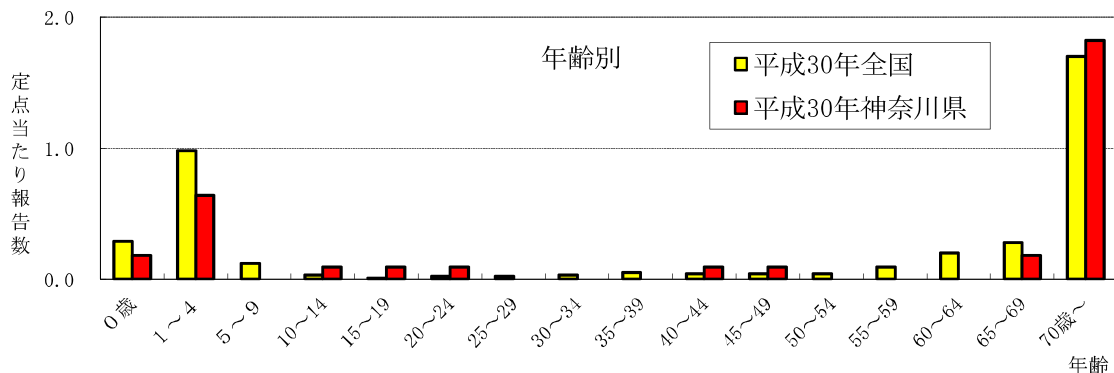


【ペニシリン耐性肺炎球菌感染症】

○ 神奈川県月別報告数（平成30年）

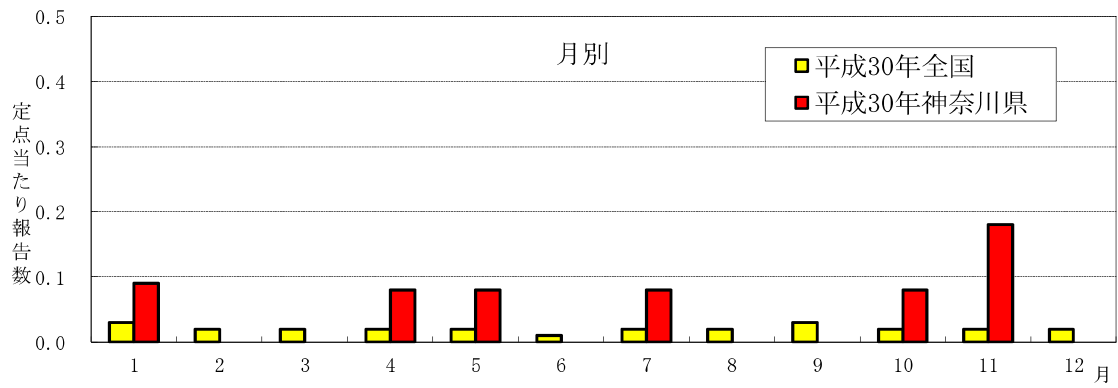


○ 神奈川県年齢別報告数（平成30年）

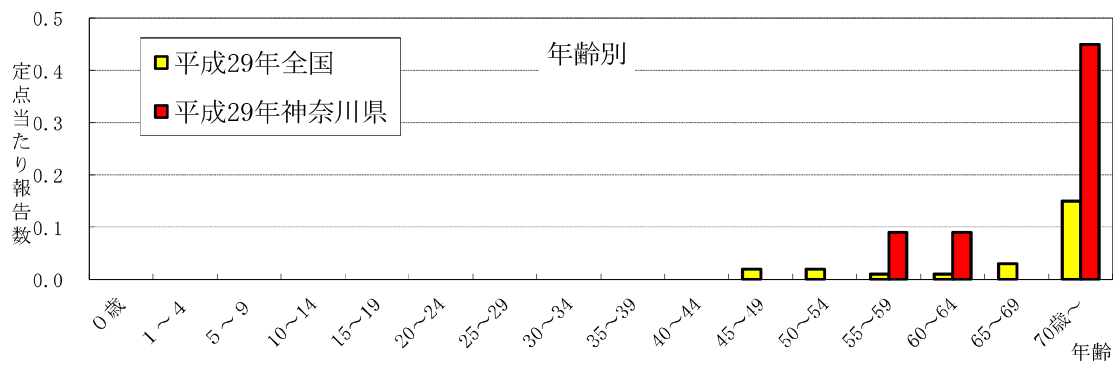


【薬剤耐性緑膿菌感染症】

○ 神奈川県月別報告数（平成30年）



○ 神奈川県年齢別報告数（平成30年）



麻しん対策について

1 現状

2018年の麻しんの発生件数は全国で282件であり、前年の189件を上回った。

一方、本県における2018年の麻しんの発生件数は8件であり、前年の9件とほとんど変わらなかった。



	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全国	456	35	165	189	282
神奈川県	44	7	8	9	8

(データ：感染症発生動向調査)

(参考) 沖縄県における麻しんの流行

2018年3月20日に麻しんの患者が確認されて以降、感染が拡大し続け6月11日の終息宣言までの報告件数は99件となった(2018年累計101件)。初発患者は台湾からの観光客で、タイで感染したものとみられている。

また、沖縄県の発表によると患者の約70%がワクチン未接種、または接種歴不明である。また、年齢別では30代の患者が31%と最多であった。

2 県内感染者の内訳
(年齢)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
1歳未満(定期0回)	6	1	0	1	1
1～4歳(定期1回)	2	1	1	0	0
5～9歳(定期2回)	3	1	0	0	0
10～19歳	8	0	2	1	0
20～29歳	10	1	2	3	4
30～39歳	11	2	1	1	2
40～49歳	4	0	2	2	0
50～59歳	0	1	0	0	0
60～69歳	0	0	0	1	1
70代以上	0	0	0	0	0
計	44	7	8	9	8

(データ：感染症発生動向調査)

(性別)

患者の性別割合は、全国も本県も男女間で大きな差はない。

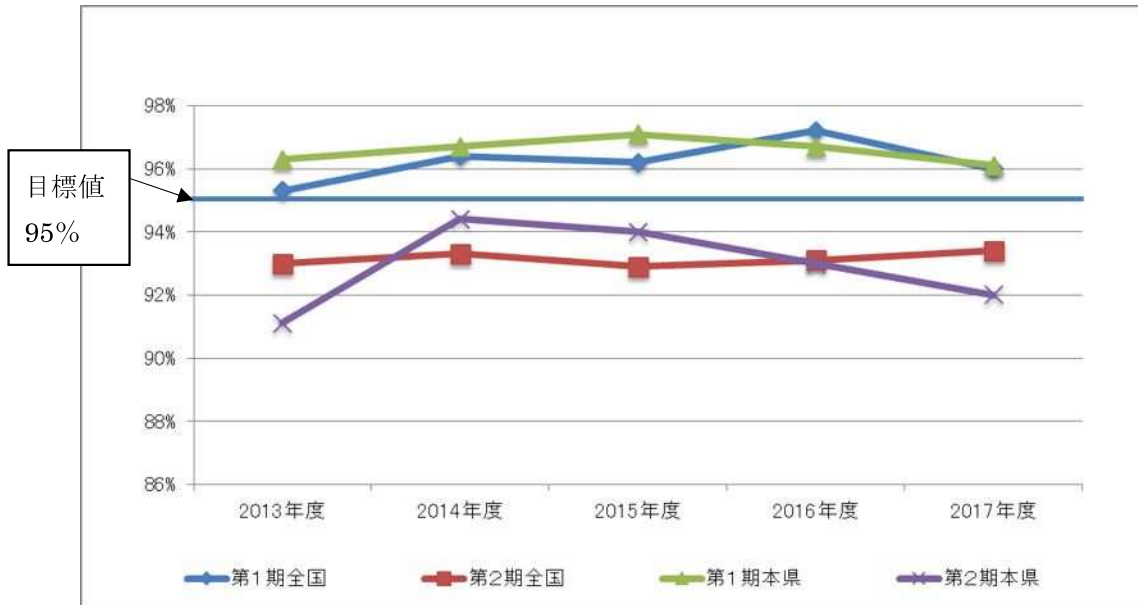
		年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
(全国)	男性	件数	234	21	78	112	153
		割合	51.3%	60.0%	47.3%	59.3%	54.3%
(全国)	女性	件数	222	14	87	77	129
		割合	48.7%	40.0%	52.7%	40.7%	45.7%

		年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
(神奈川県)	男性	件数	26	5	7	3	3
		割合	59.1%	71.4%	87.5%	33.3%	37.5%
(神奈川県)	女性	件数	18	2	1	6	5
		割合	40.9%	28.6%	12.5%	66.7%	62.5%

(データ：感染症発生動向調査)

3 予防接種状況

本県のMRワクチン定期接種率は1期が厚生労働省が目標とする95%を超える一方、2期については一度も95%を超えていない。



区分	接種年齢	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度	
		全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県
第1期	1歳児	95.3%	96.3%	96.4%	96.7%	96.2%	97.1%	97.2%	96.7%	96.0%	96.1%
第2期	小学校 就学前1年間	93.0%	91.1%	93.3%	94.4%	92.9%	94.0%	93.1%	93.0%	93.4%	92.0%

(データ：厚生労働省 HP「麻しん風しん予防接種の実施状況」)

県内市町村の達成状況は次のとおり

	1期達成	2期達成	1・2期達成
2017年度	10	5	3 小田原市、南足柄市、大井町
2016年度	25	4	3 横浜市、綾瀬市、大磯町
2015年度	16	7	3 藤沢市、伊勢原市、箱根町

2017年度麻しん風しんワクチンの定期接種状況（市町村別）

	1期				2期			
	対象者数	接種者数	接種率	目標達成	対象者数	接種者数	接種率	目標達成
横浜市	29,856	28,910	96.8%	○	30,780	28,625	93.0%	
川崎市	13,939	13,913	99.8%	○	13,077	12,286	94.0%	
相模原市	5,474	5,139	93.9%		5,811	5,375	92.5%	
横須賀市	2,696	2,431	90.2%		3,041	2,732	89.8%	
平塚市	2,106	1,721	81.7%		2,613	1,846	70.6%	
鎌倉市	1,145	1,057	92.3%		1,338	1,204	90.0%	
藤沢市	3,724	3,518	94.5%		3,911	3,629	92.8%	
小田原市	1,272	1,236	97.2%	○	1,475	1,403	95.1%	○
茅ヶ崎市	1,964	1,863	94.9%		2,185	2,027	92.8%	
逗子市	387	357	92.2%		466	412	88.6%	
三浦市	200	189	94.5%		242	214	88.4%	
秦野市	1,055	983	93.2%		1,312	1,203	91.7%	
厚木市	1,757	1,615	91.9%		1,986	1,765	88.9%	
大和市	2,064	1,980	95.9%	○	2,047	1,909	93.3%	
伊勢原市	790	767	97.1%	○	795	749	94.3%	
海老名市	1,099	1,038	94.4%		1,173	1,143	97.4%	○
座間市	988	931	94.2%		1,073	969	90.3%	
南足柄市	282	268	95.0%	○	364	346	95.1%	○
綾瀬市	640	561	87.7%		762	698	91.6%	
葉山町	238	210	88.2%		285	259	90.9%	
寒川町	398	357	89.7%		425	391	92.0%	
大磯町	213	196	92.0%		250	241	96.4%	○
二宮町	186	150	80.6%		187	160	85.6%	
中井町	35	37	105.7%	○	64	60	93.8%	
大井町	112	108	96.4%	○	152	147	96.7%	○
松田町	82	72	87.8%		95	49	51.6%	
山北町	46	42	91.3%		86	70	81.4%	
開成町	161	147	91.3%		181	168	92.8%	
箱根町	50	43	86.0%		63	55	87.3%	
真鶴町	33	22	69.7%		37	23	62.2%	
湯河原町	104	95	91.3%		171	159	93.0%	
愛川町	249	238	95.6%	○	283	249	88.0%	
清川村	10	12	120.0%	○	22	17	77.3%	
神奈川県	73,355	70,206	95.7%	10	76,752	70,583	92.0%	5

※対象者数は2017年10月1日時点の数値であるため、人口流出又は流入等により、接種率が100%を上回る場合がある。

※出典：厚生労働省HP「麻しん風しん予防接種の実施状況」より

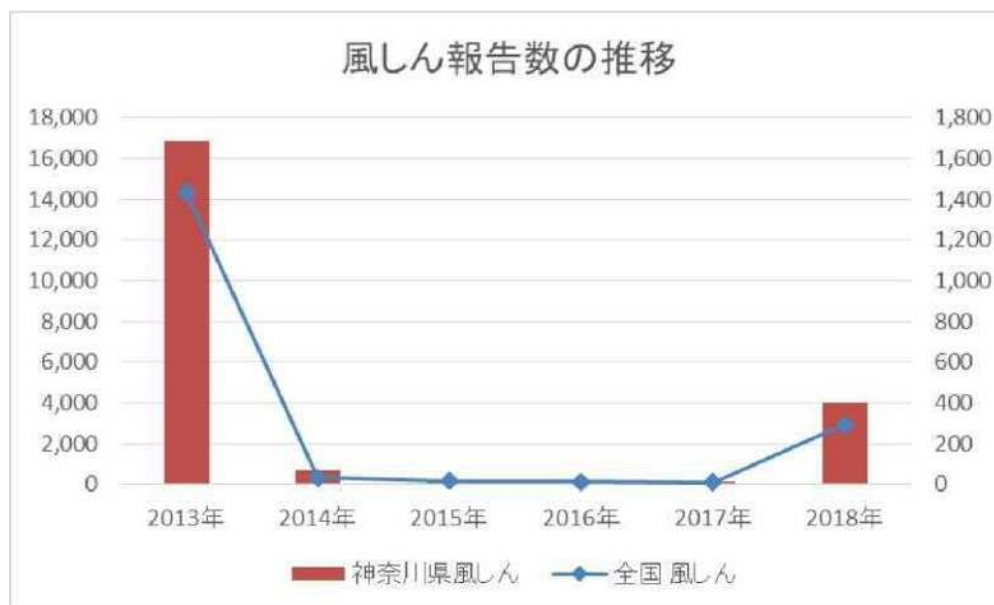
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/hashika.html>

風しん対策について

1 現状

2018年の風しんの発生件数は全国で2,917件であり、前年の93件を大きく上回った。一方、先天性風しん症候群（CRS）の全国における発生件数は、2015年以降0件の報告が続いている。

また、本県における2018年の風しん発生件数は402件であり、前年の10件を大きく上回った。一方、前年先天性風しん症候群（CRS）の本県における発生件数は、2014年以降0件の報告が続いている。



風しんと先天性風しん症候群（CRS）の報告数

		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全国	風しん	14,344	321	163	126	93	2,917
	CRS	32	9	0	0	0	0
神奈川県	風しん	1,686	70	12	10	10	402
	CRS	3	0	0	0	0	0

(データ：感染症発生動向調査)

2 県内感染者の内訳

(年齢)

本県における風しん患者の年齢別内訳をみると、30代～50代が多くなっている。

年齢別風しん患者の推移（神奈川県）

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
1歳未満	25	0	3	0	1	0
1～6歳	23	10	1	0	1	5
7～9歳	7	5	0	1	0	0
10～19歳	133	5	0	1	1	11
20～29歳	424	13	2	3	3	81
30～39歳	504	15	3	0	2	117
40～49歳	392	14	3	4	1	111
50～59歳	148	7	0	0	0	68
60～69歳	28	1	0	1	1	8
70代以上	2	0	0	0	0	1
合計	1,686	70	12	10	10	402

(データ：感染症発生動向調査)

(性別)

2018年の本県における風しん患者の性別割合は、2013年同様に男性が女性を大きく上回っている。

		年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
(全国) 男性	件数		10,972	198	106	74	60	2,364
	割合		76.50%	61.7%	65.0%	58.7%	64.5%	81.0%
(全国) 女性	件数		3,372	123	57	52	33	553
	割合		23.50%	38.3%	35.0%	41.3%	35.5%	19.0%

		年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
(神奈川) 男性	件数		1,346	45	5	6	5	331
	割合		79.80%	64.3%	41.7%	60.0%	50.0%	82.3%
(神奈川) 女性	件数		340	25	7	4	5	71
	割合		20.20%	35.7%	58.3%	40.0%	50.0%	17.7%

(データ：感染症発生動向調査)

男性は女性の約4.7倍であり、30代～50代の男性が全体の約66%を占めている。

男女別・年代別の患者数（2018年） 予防接種制度別の抗体保有率と神奈川県人口

年代	男	女	計
10代未満	4	1	5
10代	6	5	11
20代	51	30	81
30代	100	17	117
40代	103	8	111
50代	62	6	68
60代	5	3	8
70代	0	1	1
合計	331	71	402

年齢		28,29歳	30～38歳	39～55歳	56歳以上
予防接種制度		幼児期に1回 個別接種	中学生時に1回 個別接種	(男)1回も接種なし (女)中学生時1回 集団接種	1回も 接種なし
男性	県人口	100,498	516,713	1,234,495	1,468,263
	抗体保有率	89.2%	87.7%	80.1%	95.4%
女性	県人口	93,172	484,716	1,156,775	1,696,870
	抗体保有率	93.5%	96.2%	97.4%	92.3%

抗体保有率：2017年度感染症流行予測調査

人口：神奈川県年齢別人口統計調査（平成30年1月1日現在）

3 神奈川県風しん対策について

平成 24 年～平成 25 年に風しんが大流行したことを受け、本県では「神奈川県から風しんを流行させない」「今後、妊娠する人から先天性風しん症候群を出さない」ことを目指し、平成 26 年度から「風しん撲滅作戦」を展開している。また、平成 30 年の夏以降、風しん患者が急増していることを受け、12 月 10 日に「風しん非常事態宣言」を発令した。

神奈川県風しん撲滅作戦の取組

(1) 無料抗体検査の実施

妊娠を希望する女性とそのパートナーなどを対象に、無料の抗体検査を実施。

(2) 予防接種費用の補助

市町村が実施する予防接種助成の 1/3 を県が補助。市町村により助成対象者と助成額は異なる。

(3) 風しん予防啓発

・風しん予防 PR 動画の作成

平成 29 年度に作成した「ミスキャンパスが語る理想のワクチン男子」の第 2 弾として、「風しんのワクチン接種」を呼びかける PR 動画を配信した。

(4) 神奈川県風しん抗体価調査事業

「ベトナムフェスタ in 神奈川 2018」(9 月)の会場において、約 250 人(2 日間)に対し、無料の風しん抗体検査を行った。

(5) 風しん予防推進協力法人制度

従業員やその家族の健康を守るため、県と連携し風しん予防に取り組む法人等を「風しん予防推進協力法人」として登録する制度を設けている。1 月 24 日現在、登録法人数は 51 件である。

(参考)

九都県市*で連携した取組

平成 30 年 12 月 10 日に九都県市首脳会議として、実効性のある風しん対策、ワクチン・検査キットの安定供給を厚生労働大臣に対し要望。

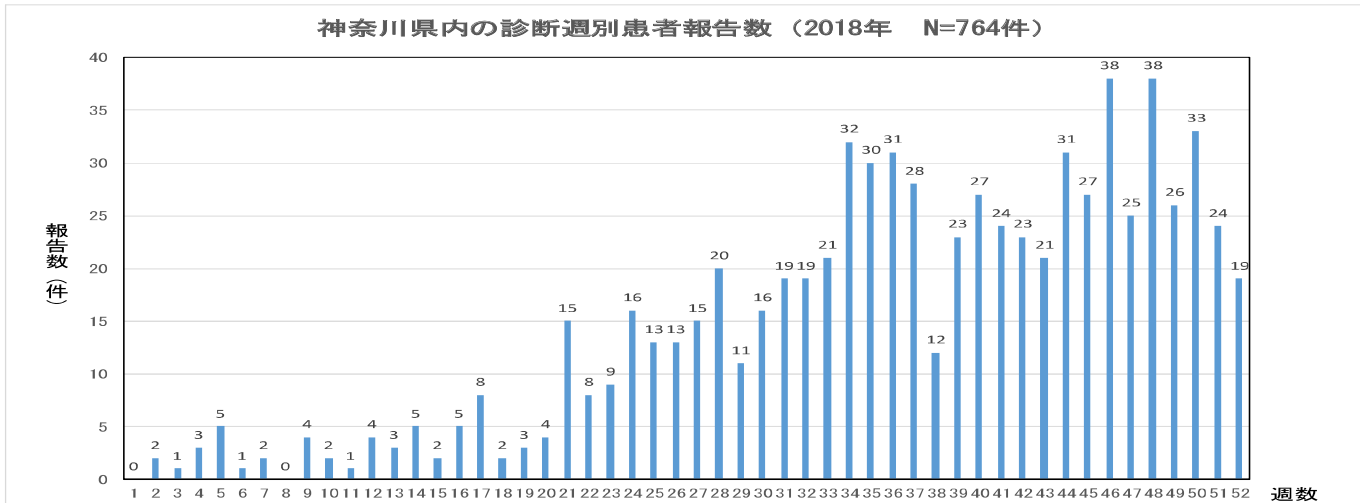
また、首都圏の高速道路 SA・PA 等において、ポスターやリーフレットを活用した啓発を行った。

※ 九都県市... 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市

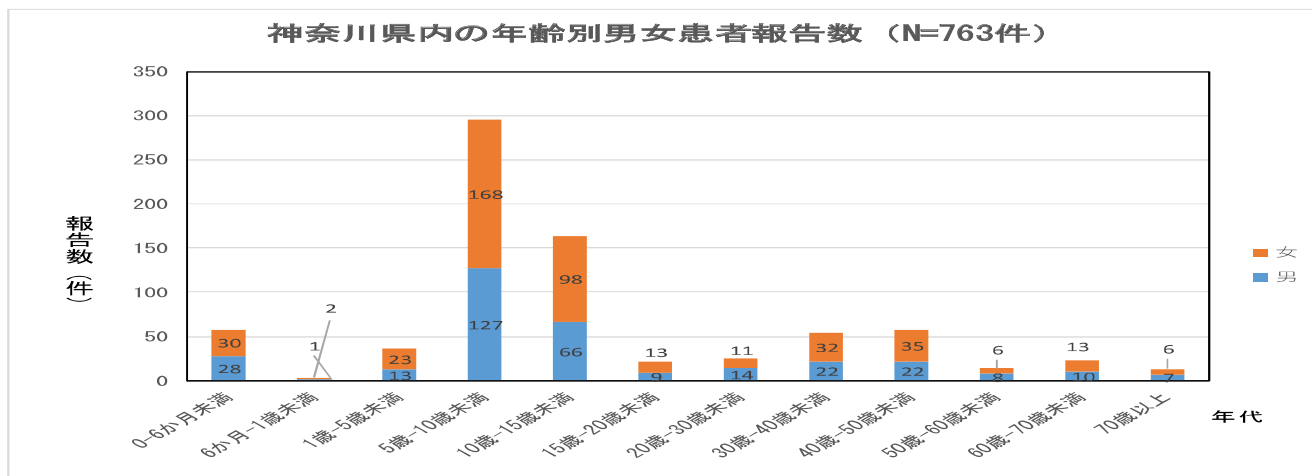
【百日咳】 2018年1月1日から定点疾患から全数報告疾患に変更されました。

(出典：2019年1月15日 感染症発生動向調査による)

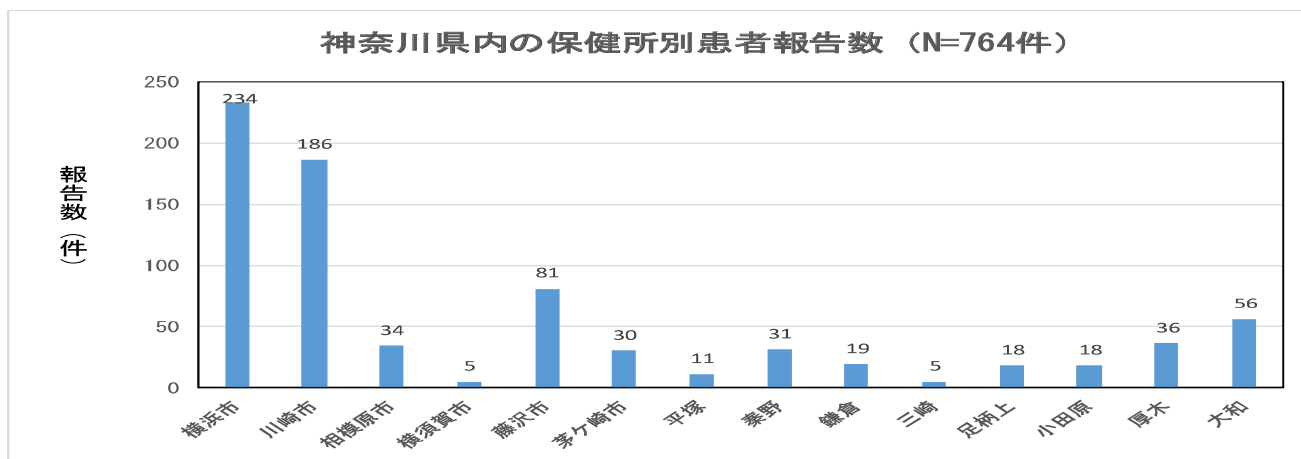
(1) 神奈川県内 診断週数別患者報告数



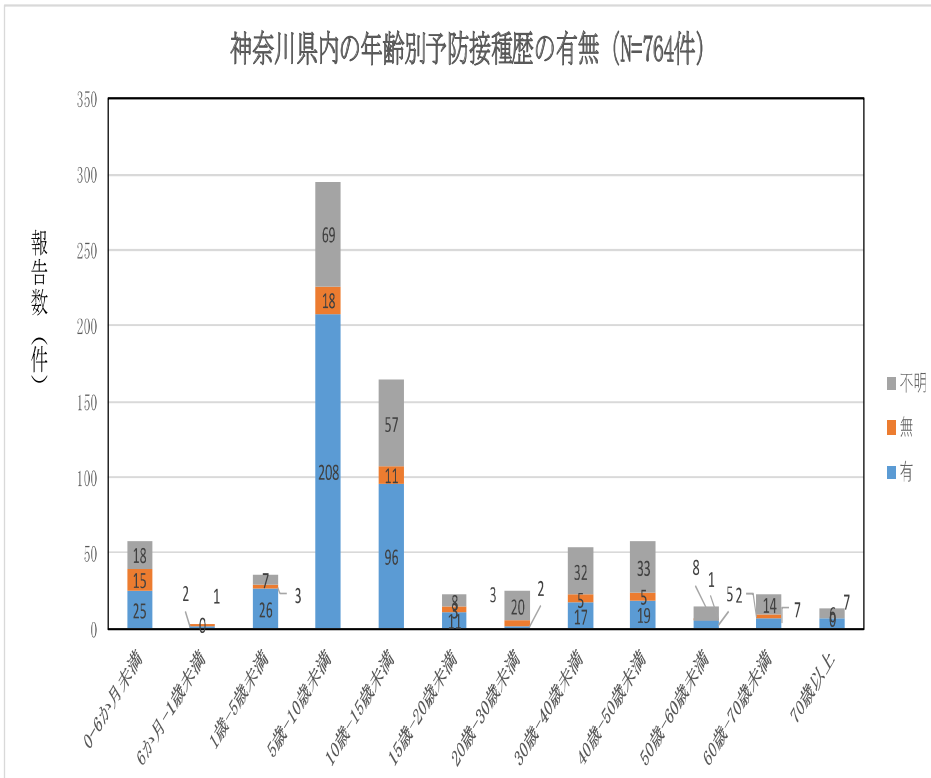
(2) 神奈川県内 男女別・年齢別患者報告数



(3) 神奈川県内 保健所別患者報告数

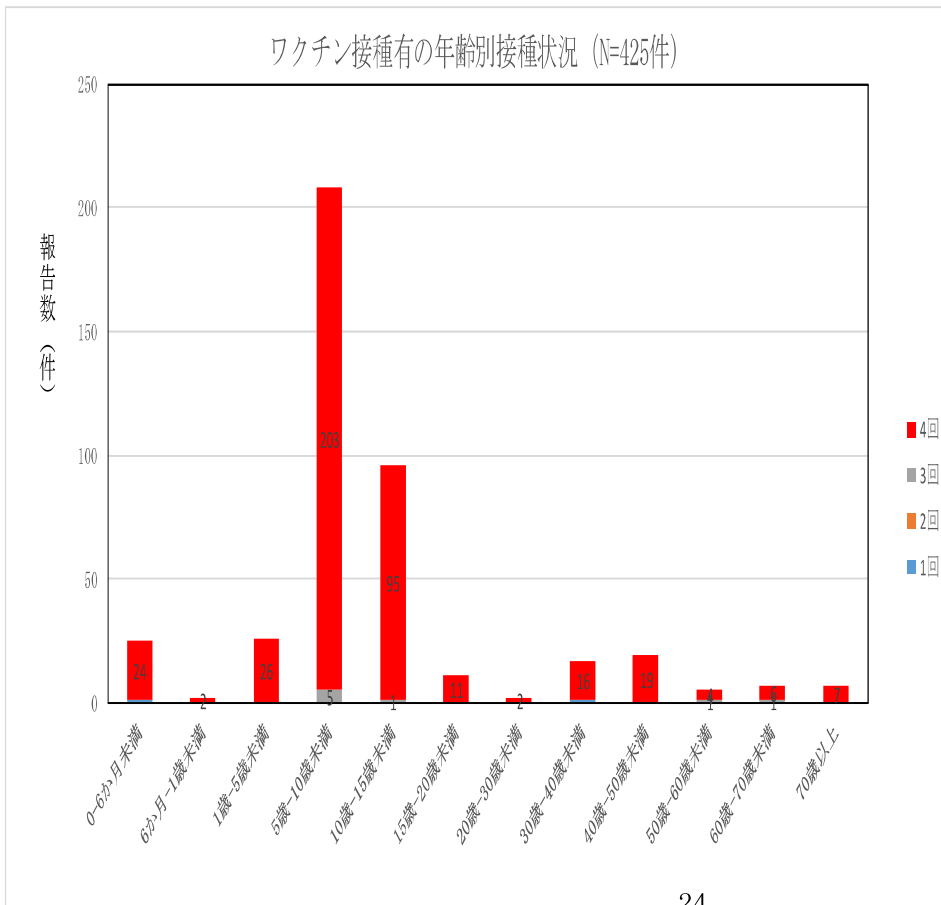


(4) 神奈川県内 予防接種の有無別年齢別患者報告数



年齢別	有	無	不明	総計
0-6か月未満	25	15	18	58
6か月-1歳未満	2	1	0	3
1歳-5歳未満	26	3	7	36
5歳-10歳未満	208	18	69	295
10歳-15歳未満	96	11	57	164
15歳-20歳未満	11	3	8	22
20歳-30歳未満	2	3	20	25
30歳-40歳未満	17	5	32	54
40歳-50歳未満	19	5	33	57
50歳-60歳未満	5	1	8	14
60歳-70歳未満	7	2	14	23
70歳以上	7	0	6	13
総計	425	67	272	764

(5) 神奈川県内 予防接種有の回数内訳患者報告数

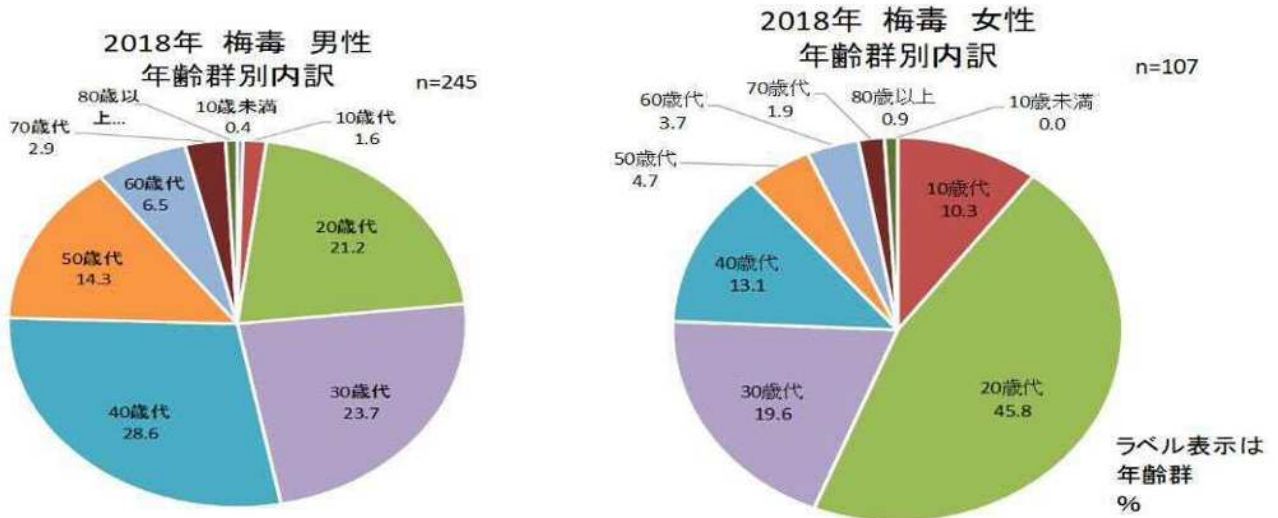


年齢別/接種回数	1回	2回	3回	4回	総計
0-6か月未満	1			24	25
6か月-1歳未満				2	2
1歳-5歳未満				26	26
5歳-10歳未満			5	203	208
10歳-15歳未満			1	95	96
15歳-20歳未満				11	11
20歳-30歳未満				2	2
30歳-40歳未満	1			16	17
40歳-50歳未満				19	19
50歳-60歳未満			1	4	5
60歳-70歳未満			1	6	7
70歳以上				7	7
総計	2	0	8	415	425

(1) 神奈川県内 梅毒感染者発生届出数



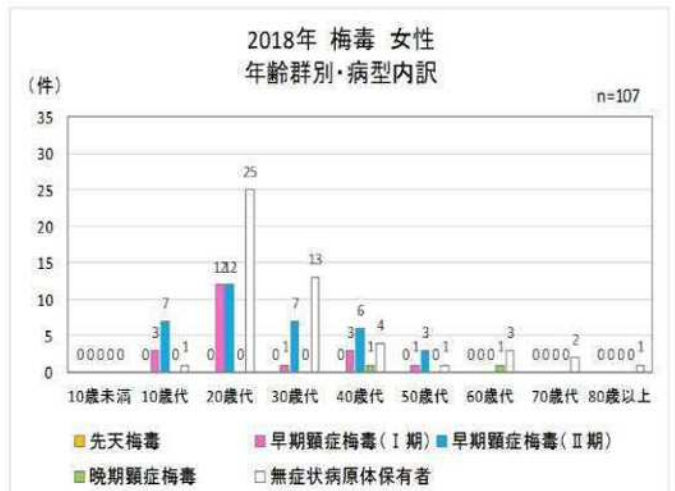
(2) 2018年 男女別・年齢内訳 (%)



(3) 神奈川県内 2018年 病型別年齢別届出数

2018年 男性	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	総計
先天梅毒	1											1
早期顕症梅毒(Ⅰ期)		2	14	30	33	13	6	1				99
早期顕症梅毒(Ⅱ期)			24	15	17	16	5	1				78
無症候(無症状病原体保有者)		2	14	13	18	5	5	4	2			63
晩期顕症梅毒					2	1		1				4
総計	1	4	52	58	70	35	16	7	2			245

2018年 女性	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	総計
先天梅毒												
早期顕症梅毒(Ⅰ期)		3	12	1	3	1						20
早期顕症梅毒(Ⅱ期)		7	12	7	6	3						35
無症候(無症状病原体保有者)		1	25	13	4	1	3	2			1	50
晩期顕症梅毒					1		1					2
総計		11	49	21	14	5	4	2			1	107



梅毒検査実施状況について（平成 30（2018）年 3～12 月）

1. 梅毒検査数・陽性数

保健福祉 事務所名	2018年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年 3-12月
平 塚	16	17	17	26	11	28	31	24	16	25	211
鎌 倉	3	3	7	3	7	5	3	8	7	7	53
小田原	2	6	9	10	2	7	9	7	9	15	76
厚 木	0	7	15	20	21	17	19	20	21	9	149
大 和 センター	11	11	5	5	2	7	2	8	10	13	74
検査数合計	32	44	53	64	43	64	64	67	63	69	563
陽性数合計	1	1	0	1	4	2	1	4	0	3	17

2. 梅毒検査陽性内訳

◎ 陽性率 3% (17/563)

◎ 陽性者属性内訳 性 別：男性 16 件

女性 1 件

年齢別：20-29 歳 3 件

30-39 歳 5 件

40-49 歳 4 件

50-59 歳 3 件

60-69 歳 2 件

国籍別：日本国籍 15 件

外国籍 2 件

◎ 確認検査（定量検査：STS 法、PA 法）結果内訳（16 件、検査未実施 1 件）

STS 法：陰 性 8 件 PA 法：陰 性 1 件

16 倍未満 2 件 1000 倍未満 7 件

16 倍以上 6 件 1000 倍以上 8 件

都道府県別麻しん累積報告数の推移

累積報告数

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
総数	456	35	165	189	282
北海道	13	1	1	1	1
青森県	0	0	0	0	0
岩手県	0	0	0	0	0
宮城県	0	0	0	2	0
秋田県	0	0	0	0	0
山形県	0	0	0	53	0
福島県	4	0	0	0	10
茨城県	3	0	1	1	3
栃木県	0	1	0	0	0
群馬県	3	0	1	2	0
埼玉県	29	2	8	5	16
千葉県	25	0	25	3	26
東京都	91	10	22	28	21
神奈川県	44	7	8	9	8
新潟県	2	0	0	3	0
富山県	0	0	1	1	0
石川県	0	0	0	4	0
福井県	0	0	0	0	1
山梨県	0	1	0	1	2
長野県	1	0	1	4	1
岐阜県	3	1	0	0	1
静岡県	32	2	1	2	4
愛知県	46	0	5	1	37
三重県	1	0	6	22	3
滋賀県	2	0	1	1	1
京都府	25	1	4	2	2
大阪府	45	2	51	10	19
兵庫県	19	4	20	3	2
奈良県	1	1	3	1	0
和歌山県	26	0	1	0	0
鳥取県	0	0	0	0	0
島根県	0	0	0	2	0
岡山県	6	0	0	0	0
広島県	10	0	2	11	0
山口県	2	0	0	0	1
徳島県	0	1	0	0	1
香川県	0	0	0	5	0
愛媛県	0	0	0	0	0
高知県	0	0	0	0	0
福岡県	8	1	1	4	20
佐賀県	0	0	0	0	0
長崎県	0	0	0	0	0
熊本県	2	0	1	3	1
大分県	3	0	1	4	0
宮崎県	4	0	0	1	0
鹿児島県	5	0	0	0	0
沖縄県	1	0	0	0	101

※ 2018年は平成31年1月15日時点NESID全数報告第52週データ

総合表 都道府県別麻疹ワクチン接種率 2017年度最終評価 接種対象群別結果一覧

2017年4月1日～2018年3月31日

95%以上	90～95%未満	80～90%未満	70～80%未満	70%未満
No.	都道府県	第1期	第2期	
合計		96.0	93.4	
1	北海道	94.7	92.4	
2	青森県	97.3	96.3	
3	岩手県	95.8	94.8	
4	宮城県	95.7	93.4	
5	秋田県	96.1	94.8	
6	山形県	96.1	95.5	
7	福島県	94.6	92.8	
8	茨城県	96.9	94.9	
9	栃木県	96.8	93.7	
10	群馬県	96.1	95.7	
11	埼玉県	95.3	94.2	
12	千葉県	95.8	93.5	
13	東京都	95.0	91.9	
14	神奈川県	95.7	92.0	
15	新潟県	96.9	95.8	
16	富山県	105.9	94.1	
17	石川県	97.3	94.4	
18	福井県	98.1	95.9	
19	山梨県	95.7	91.8	
20	長野県	94.1	94.8	
21	岐阜県	96.6	92.1	
22	静岡県	97.0	93.0	
23	愛知県	97.0	94.1	
24	三重県	95.2	94.6	
25	滋賀県	97.2	94.5	
26	京都府	94.2	93.5	
27	大阪府	97.3	93.2	
28	兵庫県	96.8	93.6	
29	奈良県	98.3	94.2	
30	和歌山県	96.8	93.6	
31	鳥取県	94.4	91.5	
32	島根県	97.5	95.3	
33	岡山県	97.6	95.2	
34	広島県	95.7	93.0	
35	山口県	97.7	94.7	
36	徳島県	95.7	93.3	
37	香川県	98.1	95.0	
38	愛媛県	98.2	92.8	
39	高知県	95.2	93.2	
40	福岡県	95.4	93.0	
41	佐賀県	94.8	94.4	
42	長崎県	92.7	92.7	
43	熊本県	95.1	95.4	
44	大分県	95.0	94.1	
45	宮崎県	96.5	95.0	
46	鹿児島県	95.7	91.8	
47	沖縄県	93.6	88.9	

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター
 ※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

都道府県別風しん累積報告数の推移

累積報告数

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全国	321	163	126	93	2,917
北海道	4	4	1	1	29
青森県	0	0	0	0	0
岩手県	3	1	2	0	1
宮城県	1	1	1	3	12
秋田県	7	0	0	0	5
山形県	0	0	0	0	13
福島県	1	0	1	0	9
茨城県	4	3	0	1	73
栃木県	4	2	1	1	9
群馬県	0	0	1	0	22
埼玉県	10	8	4	6	191
千葉県	17	16	13	8	383
東京都	97	33	19	22	945
神奈川県	70	12	10	10	402
新潟県	1	1	2	0	12
富山県	1	1	0	0	11
石川県	2	0	1	0	19
福井県	0	0	1	0	10
山梨県	1	0	1	0	13
長野県	2	1	3	4	20
岐阜県	2	1	3	1	10
静岡県	4	20	7	7	40
愛知県	21	13	20	3	119
三重県	8	7	1	1	24
滋賀県	0	4	0	0	12
京都府	2	1	0	0	24
大阪府	18	10	13	10	120
兵庫県	7	5	9	7	51
奈良県	5	1	0	2	10
和歌山県	2	0	0	0	9
鳥取県	0	1	0	1	2
島根県	0	0	0	0	1
岡山県	2	0	0	0	28
広島県	3	4	0	0	28
山口県	0	0	0	0	22
徳島県	2	1	0	0	3
香川県	1	0	1	0	11
愛媛県	2	1	0	0	7
高知県	1	0	0	0	3
福岡県	4	9	3	2	167
佐賀県	1	0	0	0	17
長崎県	1	0	1	0	1
熊本県	0	0	1	2	12
大分県	0	0	0	1	0
宮崎県	3	0	1	0	3
鹿児島県	1	0	1	0	3
沖縄県	6	2	4	0	11

※ 2018年は平成31年1月15日時点NESID全数報告第52週データ

総合表 都道府県別風しんワクチン接種率 2017年度最終評価 接種対象群別結果一覧

2017年4月1日～2018年3月31日

95%以上	90～95%未満	80～90%未満	70～80%未満	70%未満
No.	都道府県	第1期	第2期	
合計		96.0	93.4	
1	北海道	94.7	92.4	
2	青森県	97.3	96.3	
3	岩手県	95.8	94.8	
4	宮城県	95.7	93.4	
5	秋田県	96.1	94.8	
6	山形県	96.1	95.5	
7	福島県	94.6	92.8	
8	茨城県	96.9	94.9	
9	栃木県	96.8	93.7	
10	群馬県	96.1	95.7	
11	埼玉県	95.3	94.2	
12	千葉県	95.8	93.5	
13	東京都	95.0	91.9	
14	神奈川県	95.7	92.0	
15	新潟県	96.9	95.8	
16	富山県	105.9	94.1	
17	石川県	97.3	94.4	
18	福井県	98.1	95.9	
19	山梨県	95.8	91.8	
20	長野県	94.1	94.8	
21	岐阜県	96.6	92.1	
22	静岡県	97.0	93.0	
23	愛知県	97.0	94.1	
24	三重県	95.2	94.6	
25	滋賀県	97.2	94.5	
26	京都府	94.2	93.5	
27	大阪府	97.3	93.2	
28	兵庫県	96.8	93.6	
29	奈良県	98.3	94.2	
30	和歌山県	96.8	93.6	
31	鳥取県	94.4	91.5	
32	島根県	97.5	95.3	
33	岡山県	97.6	95.2	
34	広島県	95.7	92.9	
35	山口県	97.7	94.7	
36	徳島県	95.7	93.3	
37	香川県	98.1	95.0	
38	愛媛県	98.2	92.8	
39	高知県	95.2	93.2	
40	福岡県	95.4	93.0	
41	佐賀県	94.8	94.4	
42	長崎県	92.7	92.7	
43	熊本県	95.1	95.4	
44	大分県	95.0	94.1	
45	宮崎県	96.5	95.0	
46	鹿児島県	95.7	91.8	
47	沖縄県	93.6	88.9	

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター
 ※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

平成30年 風しん非常事態宣言

～ 未来の赤ちゃんのために社会全体で風しんにさよならを ～

神奈川県は、平成25年の風しん流行時に「風しん非常事態」を宣言し、「風しん撲滅作戦」を展開してきましたが、今年の夏以降、風しん患者が急増しています。

こうした状況を受け、改めて、風しんの非常事態を宣言します。

風しんは、妊娠初期の女性が感染すると、お腹の赤ちゃんに、難聴や心疾患など、先天性の病気を引き起こすおそれがあります。そのため、妊娠を希望する女性は早めに免疫（抗体）を持っていただくとともに、妊婦の周囲の人にも免疫を持っていただくことが大切です。

また、今回の患者の中心である30代～50代の男性は、予防接種を受ける機会がなかったため、風しんに対する免疫を持っていない可能性があります。そのため、風しんの流行を社会全体で防ぐためには、働き盛りの男性をはじめ、可能な限り全ての皆様に、免疫を持っていただくことが大切です。

風しんは、予防接種で防ぐことができる病気です。

神奈川県は、風しん撲滅に向けて、国への政策提案や企業等への働きかけ、広報・周知などに、全力で取り組んでまいります。

平成30年12月10日

神奈川県知事 黒岩 祐治

